３　ちむぐくるでともに
つくる福祉と健康のまち

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会福祉団体育成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	社会福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会福祉協議会、民生委員連合会、沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金	住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち」をめざします。

事業の実施内容

社会福祉協議会、民生委員連合会への補助金交付を行うことにより、福祉活動の協働・推進・支援を行いました。

●南風原町社会福祉協議会への助成　95，533千円

（内訳）①運営補助金　75，810千円

・職員の人件費、役務費、県社協負担金、通信運搬費、雑費、委託費となっています。

②支えあうまちづくり事業補助金　12，888千円

・主な活動実績として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を7人配置し、地域とともに積極的な関わりを行うことによって福祉課題を解決しました。相談支援の件数は訪問が183件、来所が73件、電話634件、その他が71件、合計で961件の延べ相談件数となりました。

③福祉総合相談事業補助金　6，507千円

・町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに法律相談、司法書士相談を実施。本年度の主な相談件数は生計に関する事2，796件、職業・生業に関する事1，222件、住宅に関する事572件となっており、その他と合計して延べ5，914件の相談を受け問題解決に取り組みました。

④社会的孤立対策事業補助金　248千円

・地域社会において住民相互がつながりあい、ともに支えあい・たすけあうことで子どもをはじめとした世帯等を地域で見守り、育み、地域ぐるみで推進することを目的に事業を実施しました。子どもの居場所づくり支援として、新川自治会がコロナの影響により区民食堂から内容を変更しテイクアウト弁当の提供を4回行いました。

⑤ボランティアセンター運営事業　80千円

・「福祉教育の推進」では福祉教育推進事業助成、町内小中学校総合的学習の時間・出前講座への対応を行いました。（福祉教育連絡会、福祉教育・地域福祉活動実践報告会、町内学校教諭等福祉研修会は新型コロナウイルスの影響により中止。）「ボランティア養成研修の充実」では手話ボランティア養成講座を開催しました。（10代のボランティア研修会、音訳ボランティア養成講座は新型コロナウイルスの影響により中止。）その他「ボランティアセンター基盤整備」ではボランティアの登録、活動支援を行いました。

●民生委員児童委員連合会補助金　4，237千円

民生委員・児童委員の活動状況は、主な内容別相談として日常的な支援が267件と最も多く、次いで生活費に関する事が82件、家族関係46件、健康・保健医療44件となっています。分野別相談・支援件数は、高齢者に関する事が333件、子どもに関することが74件、障害者に関する事が74件、その他221件で合計692件の相談支援件数となっています。毎月1回の定例会の実施や各種研修会へ参加をしました。

●沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金　75千円

事業の成果

「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会、地域住民・関係機関・団体及び社会福祉施設等との連携を担う民生委員連合会に補助を行う事により、福祉のまちづくりの協働・推進が図られ町民の福祉向上に貢献できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	101,700	99,845	2,000				97,845

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）			予算科目	会計	国民健康保険特別会計	02
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目		

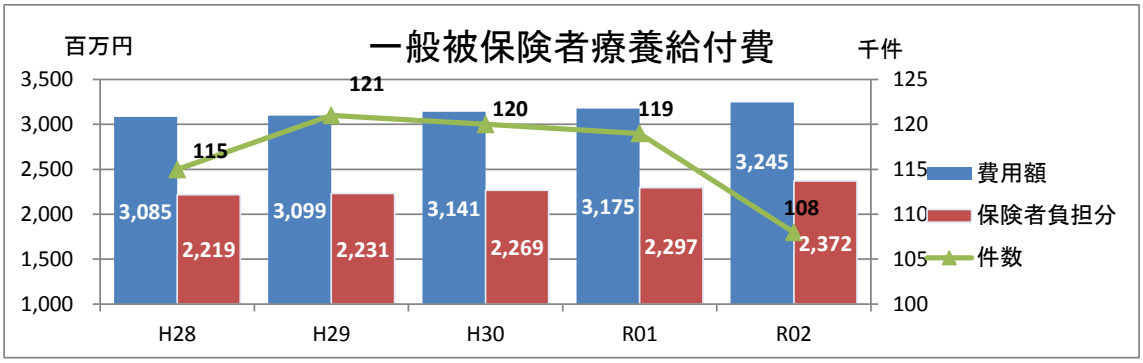
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	国民健康保険の加入者（被保険者）が病気やケガ、出産等により医療費等がかかった場合に保険給付を行います。	病気やケガにかかる医療等に対して保険給付を行うことにより、被保険者の経済的負担や心理的不安が軽減され、健康の増進や生活の安定を図ります。

事業の実施内容

病気やケガ等により医療機関で治療や投薬を受けると、被保険者はかかった医療費の3割を個人で負担します。（70歳以上は2割又は3割、未就学児は2割を個人負担します。）
残りの医療費は町の国保特別会計から支払われます。

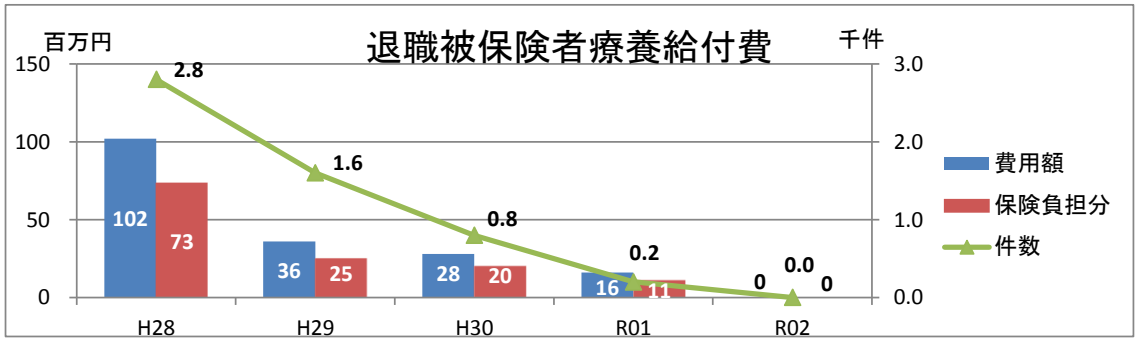
◆ 一般被保険者療養給付費　（2款1項1目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
107,658	3,245,253	2,371,592



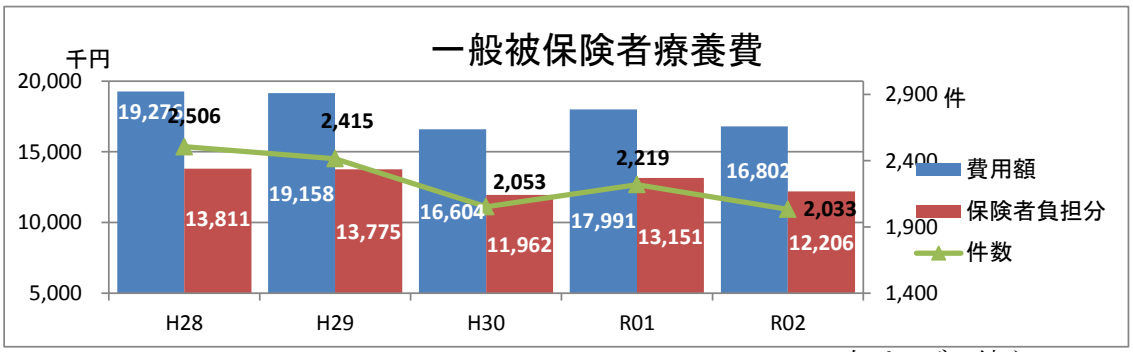
◆退職被保険者等療養給付費（2款1項2目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
0	0	0



◆一般被保険者療養費（2款1項3目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
2,033	16,802	12,206

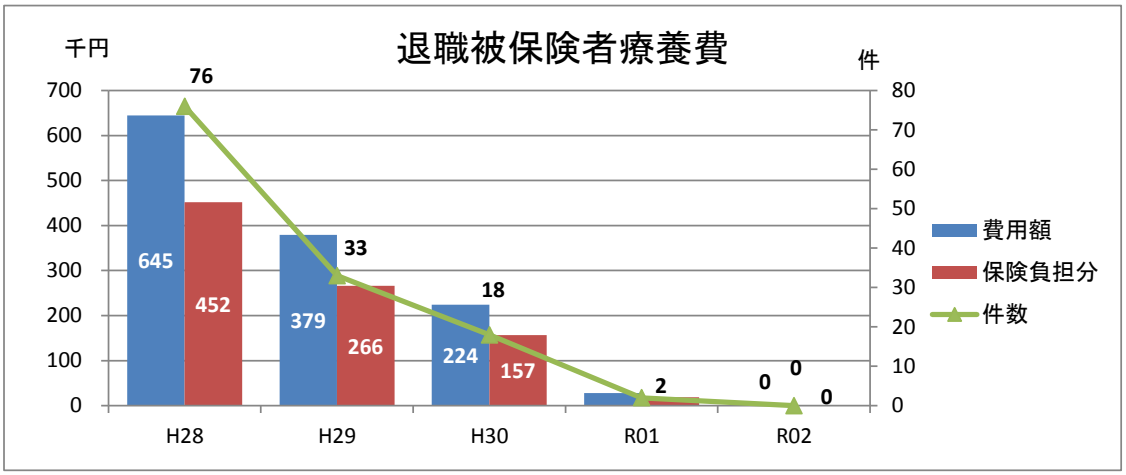


次ページへ続く　→

事業の実施内容

◆退職被保険者等療養費（2款1項4目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
0	0	0



◆一般被保険者高額療養費（2款2項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
4,911	418,423

◆退職被保険者高額療養費（2款2項2目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
1	168

◆一般被保険者高額介護合算療養費（2款2項3目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
1	3

◆出産育児一時金（2款4項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
54	20,892

◆葬祭費（2款5項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
53	1,060

◆国民健康保険事業費納付金（3款）　1,240,172　千円

平成30年度に始まった国民健康保険の県単位化に伴い、国・県からの特別調整交付金及び被保険者からの保険税として集めた費用を、南風原町の納付金として負担しました。

◆総務費 総務管理費 一般管理費（1款1項1目）　職員給与費等　123,058　千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

◆保険税収納率向上に係る経費　（1款2項2目）　10,150　千円

収納活動の円滑な実現が図られるよう納付指導員を4名採用し、納期内納付を推進するとともに滞納者等を対象として次のことを行いました。

(1)夜8時までの夜間窓口を開設(毎週木曜日)し、納税相談等に利用しやすい環境づくりの実施。
(2)各地区に担当納付指導員を配置し、個別による納付相談の実施。

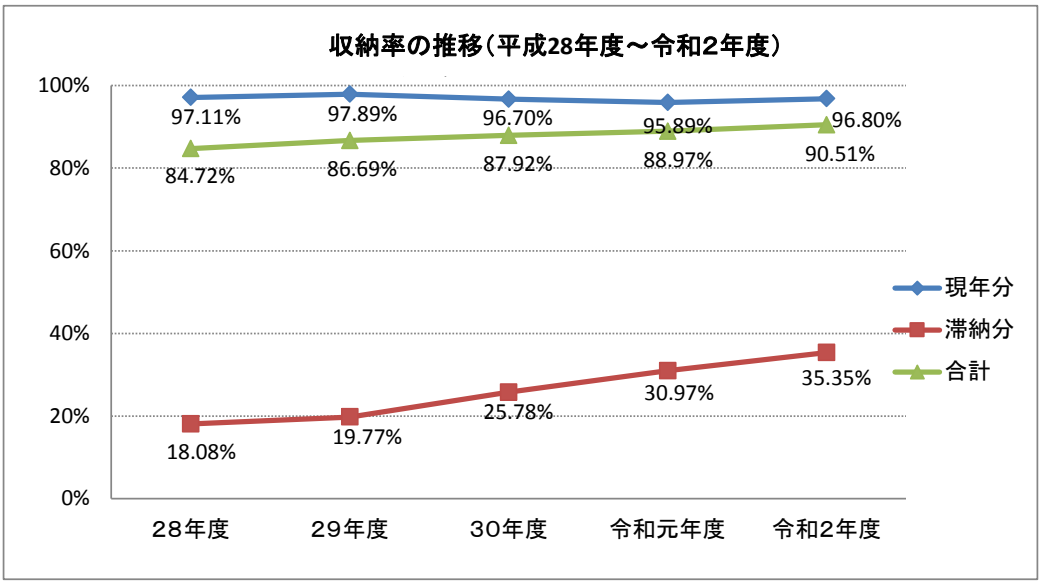
(3)電話による催促、文書の送付、呼び出し等による納税相談の実施。

(4)滞納者の生活状況、資産、収入の調査を行い、滞納処分(債権差押え)による徴収の強化。

☆生活困窮世帯からの相談には、社会福祉協議会相談員等との連携により、計画的に国保税の納付ができる環境作りに努めました。

(収納率の推移)　単位(%)

年度	現年分	滞納分	合計
平成28年度	97.11	18.08	84.72
平成29年度	97.89	19.77	86.69
平成30年度	96.7	25.78	87.92
令和元年度	95.89	30.97	88.97
令和2年度	96.8	35.35	90.51



◆ 特定健康診査等事業　(6款1項1目)

対象者
南風原町国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査実施年度中に40歳から74歳となる者。

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行い、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようサポートします。

特定健康診査等委託料	13,683 千円
報酬・賃金・報償費等	11,835 千円
その他	2,461 千円
合計	27,979 千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

【健診項目】

1. 基本的な健診項目
身体測定(身長、体重、BMI、腹囲)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、血液化学検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(GOT、GPT、rーGTP)、血糖検査(空腹時または随時)、HbA1c検査、尿検査(尿糖、尿蛋白)、腎機能検査(血清クレアチニン)、血清尿酸検査

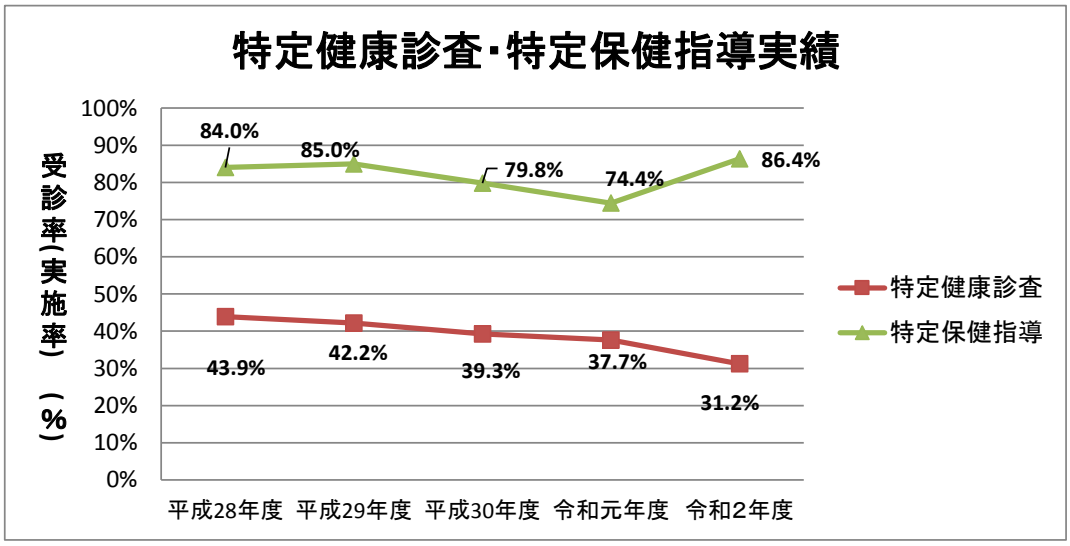
2. 詳細な検査の項目
心電図、眼底検査、貧血検査(赤血球数、血色素量[ヘモグロビン値]、ヘマトクリット値)のうち、一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

3. 二次健診の項目
75g糖負荷検査、頸部エコー検査、血圧脈波検査(ABI、PWV)、微量アルブミン尿検査

特定健康診査・特定保健指導実績一覧表

項目 / 年度	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
H28	5,438	2,389	43.9%	356	299	84.0%
H29	5,289	2,231	42.2%	306	260	85.0%
H30	5,228	2,052	39.3%	292	233	79.8%
R01	5,219	1,965	37.7%	258	192	74.4%
R02	5,644	1,761	31.2%	337	291	86.4%

※上記実績は法定報告によるものです。令和2年度は法定報告がまだの為、R3.6月末現在値となっています。



事業の成果

〈給付に係る経費〉
被保険者への保険給付等を実施する事により、医療の普及、保健の向上、生活の安定を図り、健康の保持・増進に寄与しました。
〈保険税収納率向上に係る経費〉
収納率(合計)　平成30年度 87.92%　令和元年度 88.97%　令和2年度 90.51%
厳しい社会情勢の中、納税者の国保制度に対する理解と関係各課等との連絡を密にし徴収の取り組みを実施した結果、収納率は対前年度より1.54ポイント上がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,359,470	4,261,272	7,483	2,998,971		18,447	1,236,371

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者医療対策費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	民生費	03
連絡先	889－1798				項	老人福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	高齢者医療対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	医療保険加入者で75歳以上の人又は65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。	後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することを目的とします。

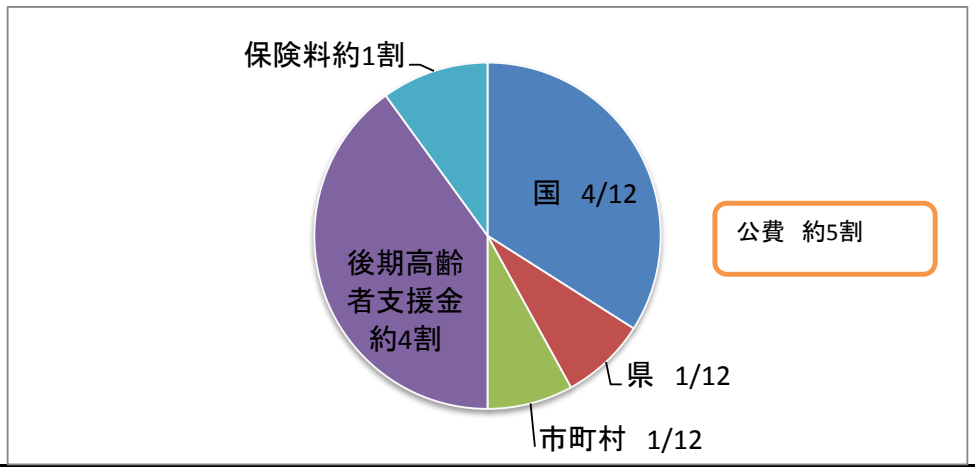
事業の実施内容

後期高齢者医療制度の安定的運営を目指して、保険者である沖縄県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費のほか事務費、基盤安定（保険料軽減対策）などの負担金を支出しています。

◆ 後期高齢者医療制度に係る経費（決算額）

・会計年度任用職員報酬等（保健師、看護師）	5,690 千円
・後期高齢者徴収システム改修委託料	238 千円
・公用車リース料	419 千円
・後期高齢者保険料保険基盤安定負担金繰出金	62,317 千円
・後期高齢者療養給付費負担金(現年度分)	232,928 千円
・後期高齢者医療広域連合負担金	19,473 千円
・後期高齢者特別会計へ事務費等繰出金	5,766 千円
・はり、きゅう、あん摩、マッサージ補助金	109 千円
合　計	326,940 千円

【参考　後期高齢者医療制度の財政の全体のイメージ】



事業の成果

これまでの医療費適正化事業に変わり、令和2年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が始まりました。保健師が健診データを分析し、看護師が保健指導・長寿健診受診勧奨を実施し、生活習慣病を重症化させないように努めることができました。後期高齢者の医療給付費・事務費等の費用の一部を負担することにより後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	327,091	326,934	47	46,737		6,217	273,933

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

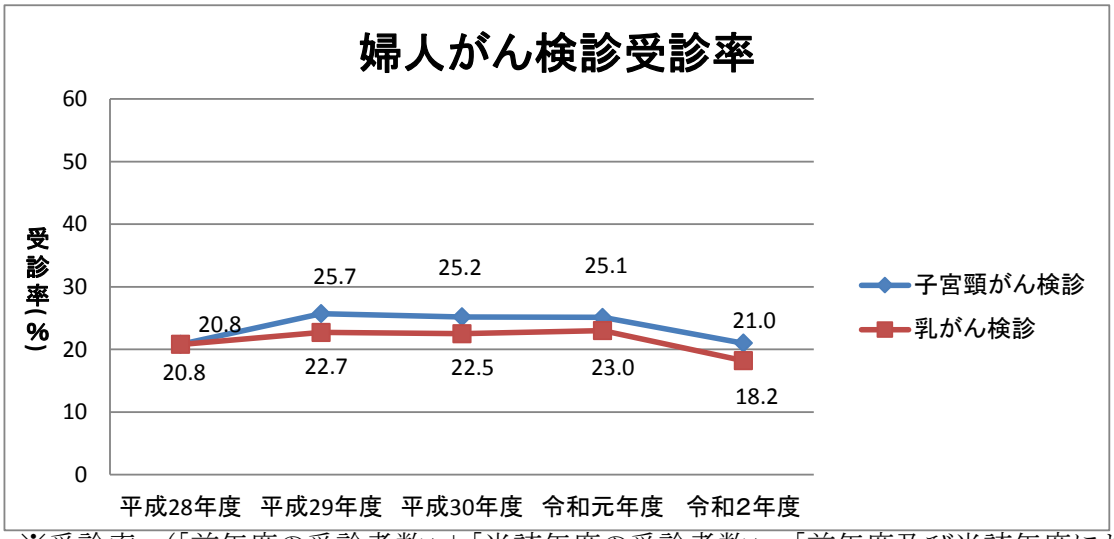
事業名	婦人がん検診事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－1798				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	職場等で婦人がん検診を受診する機会のない女性の方を対象としています。子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の方の受診料を助成します。	受診料を助成し経済的な面で受診しやすい環境を整えることにより、婦人がんの早期発見・早期治療に役立て、町民の健康の保持・増進を図ります。

事業の実施内容

○婦人がん検診事業費

婦人がん検診委託料	7,239 千円
婦人がん検診通知等（通信運搬費）	35 千円
その他	246 千円



※受診率＝(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100
※地域保健・健康増進事業報告書算出による受診率

○女性特有のがん検診推進事業

この事業は、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持・増進を図るため、がん検診受診率を50％に上げることを目的として、以下の年齢の女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳と検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

クーポン対象年齢

【子宮頸がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
20歳	平成12年4月2日～平成13年4月1日

【乳がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
40歳	昭和55年4月2日～昭和56年4月1日

事業の成果

検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,899	7,520		90			7,430

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住民健診（健康診査）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

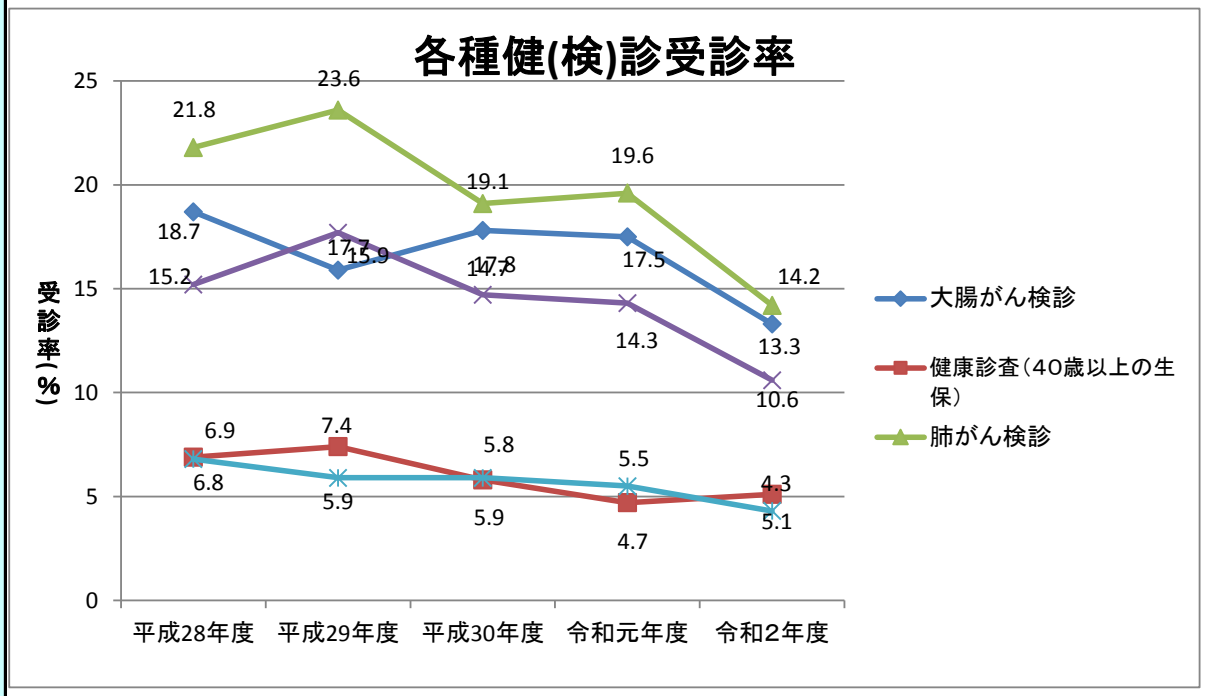
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	40歳未満の方で、学校や職場等で健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に受診料を助成します。	受診料を助成し、経済的な面で受診しやすい環境を整えることで、町民の健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図ります。

事業の実施内容

40歳未満の方で、学校や職場などで健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に、住民健康診査（身長・体重・腹囲・尿検査・血液検査・医師の診察）を行います。希望者は、胃、肺、大腸がん検診及び眼底、心電図検査が受診できます。

住民健診(健康診査)事業費

基本健診委託料（40歳未満・生保）	2,195 千円
胃がん検診委託料	6,429 千円
肺がん検診委託料	5,615 千円
大腸がん検診委託料	3,295 千円
その他	1,687 千円



※40歳未満健診の受診率は、保健事業ネットからのデータにより算出しています。
※40歳以上で生活保護の方の健診の受診率は、健康増進事業費補助金事業実績報告より算定しています。
※各種がん検診受診率は、医療機関実績報告により算定しています。

事業の成果

各種検診を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,174	19,221		98			19,123

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	後期高齢者医療事業			予算科目	会計	後期高齢者医療特別会計	09
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目		

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	75歳以上の人に対して、高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえた医療サービスを行います。	高齢期における医療の確保を図るため、共同連帯の理念等に基づき、適切な医療の給付等を行い、保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ります。

事業の実施内容

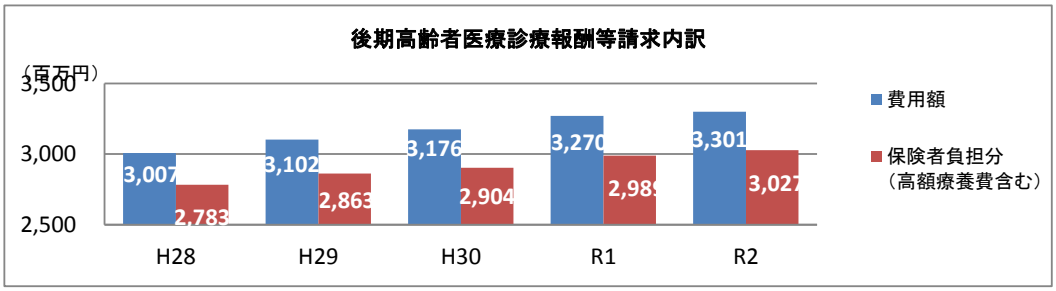
（1）対象者：75歳以上の方（一定の障害がある65歳以上の方）
（2）被保険者数：3,236人（令和2年度平均被保険者数）
（3）事業費（決算額）
・総務費（職員給与等）　6,002 千円
・後期高齢者医療広域連合納付金　318,988 千円
・諸支出金　1,562 千円

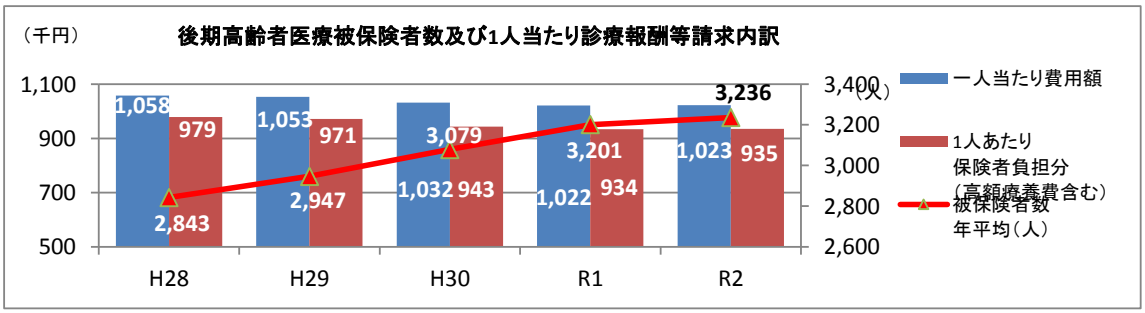
★主な事業内容
・被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
・被保険者証及び資格証明書の引渡し・同返還の受付
・医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
・保険料の徴収

【　保険料収納率　】

後期高齢者医療保険料収納率（%）

	現年度	滞繰分	計
H28	99.63	64.21	99.35
H29	99.79	68.75	99.66
H30	99.81	54.72	99.64
R1	99.41	62.67	99.23
R2	99.82	55.70	99.57





事業の成果

沖縄県を単位とした広域連合が保険料の賦課及び医療給付を行い、高齢社会に備え財政基盤の安定化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	327,978	326,552				257,649	68,903

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新生児妊産婦訪問指導事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	第1子目の新生児または乳児とその産婦 （第2子以降は希望のあった方）	産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとおして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるように支援します。

事業の実施内容

訪問従事者・・・助産師、保健師

《妊婦訪問》

対象：　訪問が必要と判断された妊婦

指導内容　・健康状態、現状などの問診
・健康診査の励行
・妊娠、分娩、産褥及び育児に関する知識
・生活環境
・精神保健
・妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行
・家族計画等

《新生児・乳児及び産婦訪問》

対象：　第1子目の新生児または乳児とその産婦
（第2子以降は希望のあった方）

指導内容
・新生児、産婦の健康状態などの問診
・母乳栄養について
・抱き方、寝かせ方
・乳房マッサージ施行
・予防接種について
・新生児の生理について
・産後の経過について
・産後の休暇の取り方
・事故予防について
・母子制度の説明
・清潔、皮膚の手入れ
・操体法実施
・ベビーマッサージ施行
・オムツの当て方
・家族計画
・その他

主な経費
委託料　　1，460千円

事業の成果

延べ281件の訪問指導を実施し、産前産後のさまざまな悩みや不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問し相談相手となることで、不安や悩みの解消を図り、母子ともに健康な生活が送れるよう支援しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,595	1,460					1,460

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	未熟児養育医療事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	出生時体重2,000グラム以下もしくは医師が入院養育を必要と認めた乳児	医療を必要とする未熟児に対して、入院養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。

事業の実施内容

○未熟児養育医療とは

身体の発達が未熟なまま出生した乳児に対して、医師が入院養育を必要と認めた場合、費用の一部を国、県、市町村が負担する制度です。（保護者の所得に応じて自己負担額が決められます。また自己負担分はこども医療費助成の対象になります。）

○対象

南風原町に住所を有し、次のいずれかの症状があり、医師が入院養育を必要と認めた乳児が対象となります。

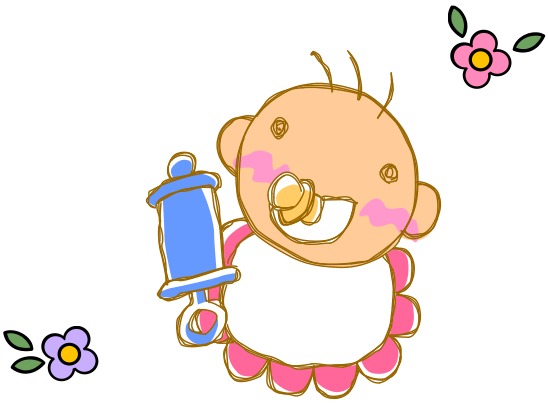
1. 出生時の体重が2,000g以下のもの。
2. 生活能力が特に薄弱であって医師が入院養育を必要と認めたもの。

主な経費

扶助費	4，080千円
委託料	1千円
合　計	4，081千円

＜令和2年度＞

給付実人員	16人
給付延件数	37件
給付延日数	683日



事業の成果

養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図りました。
また、保健師による退院後の訪問指導（相談）につなげることで継続した支援ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,500	4,081	1,754	877		570	880

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	1歳6か月児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

1歳6か月児健康診査（毎月実施／年11回）
※コロナ感染症拡大防止のため、4回分は翌年度へ延期（当初予定　年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 小児科医による診察
- 栄養指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 心理相談

スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　2名

主な経費

医師等謝礼金	1，051千円
消耗品費・通知費等	44千円
健診委託料	367千円
合　　計	1，462千円

令和2年度　1歳6か月児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
538	415	77.1%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
360	11	41	1	2

事業の成果

幼児期の身体、精神の発育発達の状態を確認することができました。また、保護者が子の発育・発達の原理を知り、日常で実践できるよう支援する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,521	1,462					1,462

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	3歳児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

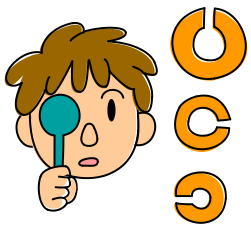
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満3歳5ヶ月を超え満4歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

3歳児健康診査（毎月実施／年12回）
※コロナ感染症拡大防止のため3回分は翌年度へ延期（当初予定　年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 尿検査（尿蛋白・尿糖）
- 視能訓練士による眼科検査
- 小児科医による診察
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 栄養指導及び相談
- 心理相談（必要時）



スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 視能訓練士　3名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　3名
- 事務職員　2名

主な経費

3歳児健診委託料	1，663千円
健診スタッフ等謝礼金	574千円
消耗品費・通知費等	438千円
合　　計	2，675千円

令和2年度　3歳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
525	474	90.2%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
365	17	23	0	69

事業の成果

幼児期においての視覚、聴覚も含めた発育・発達の確認をし、心身の障がいを未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう支援ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,128	2,675					2,675

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	妊婦一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
親子（母子）健康手帳の交付を受けた妊婦のうち、本町に住所を有する者	保険適用外である妊婦の健康診査を公費負担とすることで、経済的負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図ります。

事業の実施内容

妊婦健康診査内容及び公費負担額等

公費補助（全14回）	望ましい健診時期（有効期限）	健　診　内　容	公費負担額
1回目	妊娠初期	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（血液型検査、不規則抗体検査、梅毒血清反応検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、血糖検査、貧血検査） 3. 子宮頸がん検査　4. 超音波検査	9,000円
2回目	（20～23週）	1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	5,000円
3回目	（24～28週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、血糖検査）　3. 超音波検査	6,000円
4回目	（29～33週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査）　3. 超音波検査	6,000円
5回目	（34～出産）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、GOP、GPT）　3. 帯下培養　4. 超音波検査	6,000円
9－1回目	9－1回目～9－9回目は順番が前後することも可能	1. 基本的な健康診査	5,040円
9－2回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－3回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－4回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,290円
9－5回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－6回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－7回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－8回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－9回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
風疹・HIV・ｸﾗﾐｼﾞｱ検査	1回目・できるだけ早い時期	風疹ウイルス抗体価検査、HIV抗体価検査、ｸﾗﾐｼﾞｱ抗原検査	5,640円
HTLV-1抗体検査	3～5回目 30週頃までに	HTLV－1抗体価検査	2,290円

※「1. 基本的な健康診査」では、問診等による健康状態の把握、体重測定、血圧測定、尿検査等の定期検査、保健指導が行われます。

※上記それぞれの検査については、公費負担により無料で受診することができますが、項目以外の検査料は自己負担となります。

・・・例えば、超音波検査がない回に超音波検査を受けた場合の検査料金は自己負担になります。

※親子（母子）健康手帳交付時の週数に応じて必要な回数の受診票が発行されます。

（2・3・4・5回目の受診票には有効期限が設けられています。妊娠がわかったら早めに親子健康手帳の交付を受けましょう。）

主な経費

委託料	50，061千円
需用費	350千円
扶助費	366千円
合　計	50，777千円

＊国保連合会
妊婦健康診査受診状況
（年報）より

妊婦健康診査受診状況（令和2年度）

・妊娠高血圧症候群

妊娠週数（20週以前）					妊娠週数（20週以降）		
受診者数	高血圧あり 計	高血圧あり 尿蛋白＋以上	高血圧なし 計	高血圧なし 尿蛋白＋以上	受診者数	高血圧あり 妊娠高血圧 尿蛋白－±	高血圧あり 妊娠高血圧腎症 尿蛋白＋以上
541	8	1	533	21	2090	19	4

・妊娠糖尿病

妊婦健診1回目（妊娠初期）			妊婦健診3回目（妊娠24～28週）		
受診者数	糖尿病	OGTT実施数	受診者数	糖尿病	OGTT実施数
546	0	0	527	21	4

・妊娠時の貧血

受診者数	正常	貧血
2124	1978	146

事業の成果

健診を定期的に受けることで母体の疾病又は異常の早期発見及び防止になっています。
また健診結果をもとに、リスクの高い妊婦に対して保健師・助産師による訪問や電話での相談等を行い、妊産婦の生活習慣に対する助言や出産に対する不安の解消を図りました。

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
52,274	50,777					50,777

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	乳児一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	生後4ヶ月を超え、満1歳に達しない乳児 （前期：4ヶ月～5ヶ月児、後期：9ヶ月～10ヶ月児）	健康診査、栄養指導、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、乳児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

乳児一般健康診査（毎月実施／年12回）
※コロナ感染症拡大防止のため1回分は翌年度へ延期
（当初予定　年13回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）（後期児のみ）
- 小児科医による診察
- 栄養指導
- 保健指導

スタッフ
- 小児科医師　3名
- 検査技師　2名
- 看護師　3名
- 栄養士　6名
- 保健師　5名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　6名

（対象人数によって調整）

主な経費

乳児健診委託料	6，023千円
健診案内通知等	106千円
消耗品費、印刷製本費	101千円
合　計	6，230千円

令和2年度　乳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
1,527	1,017	66.6%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
816	27	98	1	75

事業の成果

乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともにすこやかに成長できるための育児環境づくり、各月齢ごとの発達の様子をまとめた「子どもノート」を活用し育児不安の解消を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,713	6,230					6,230

令和 2 年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	長寿県復活食の応援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健対策推進費	06

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内に住所を有する小学5年生及び中学2年生	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施します。

事業の実施内容

1．学童期における生活習慣病予防健診及び保健指導
　小学5年生、中学2年生への生活習慣病予防健診（採血等）の実施と結果に基づいた保健指導の実施

《　生活習慣病予防健診　》

○主な経費
・学童期生活習慣病予防健診　……　2，122千円
・通信運搬費　……　120千円

		H28	H29	H30	R1	R2
対象者		908	976	932	990	1032
	小5	464	509	476	516	512
	中2	444	467	456	474	520
受診者		241	321	310	463	305
	小5	154	206	187	280	170
	中2	87	115	123	183	135
受診率		26.5	32.9	33.3	46.8	29.6
	小5	33.2	40.5	39.3	54.3	33.2
	中2	19.6	24.6	27.0	38.6	26.0
保健指導数＊（結果説明会参加含む）		209	197	220	301	29
	小5	－	143	127	172	14
	中2	－	54	93	129	15
保健指導率		86.7	61.4	71.0	65.0	9.5
	小5	－	69.4	67.9	61.4	8.2
	中2	－	47.0	75.6	70.5	11.1

＊R2年度はコロナ感染拡大防止の観点から集団結果説明会は実施せず

事業の成果

コロナ禍でしたが、感染拡大防止を図りながら継続して事業を実施できました。健診結果についても個別での結果説明やパンフレット等を用いた情報提供など感染拡大防止に留意し実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,321	2,242		1,793			449

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	予防接種事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889-7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	予防費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者等。	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、町民の健康の保持に努めます。

事業の実施内容

令和2年度決算内訳　　単位:千円

予防接種医師委託料	187,780
その他	2,614
合　　計	190,394

令和2年度定期予防接種状況

接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢
ヒブ	1回	570	569	99.8%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	570	584	102.5%	
	3回	570	607	106.5%	
	追加	584	595	101.9%	
小児用肺炎	1回	570	570	100.0%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	570	577	101.2%	
	3回	570	596	104.6%	
	追加	584	603	103.3%	
4種混合	1回	579	578	99.8%	3ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	579	892	154.1%	
	3回	579	593	102.4%	
	追加	552	654	118.5%	
BCG	1回	599	588	98.2%	5ヶ月 ～ 1歳未満
ＭＲ	1期	560	581	103.8%	1歳 ～ 2歳未満
	2期	561	493	87.9%	5歳～7歳未満で小学就学前の1年間
水痘	1回	584	585	100.2%	1歳 ～ 3歳未満
	2回	552	579	104.9%	
B型肝炎	1回	570	567	99.5%	2ヶ月 ～ 1歳未満
	2回	570	574	100.7%	
	3回	570	540	94.7%	
日本脳炎1期	1回	586	910	155.3%	6ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	586	909	155.1%	
	追加	586	781	133.3%	
日本脳炎	2期	613	507	82.7%	9歳 ～ 13歳未満
ＤＴ	2期	515	348	67.6%	11歳 ～ 13歳未満
子宮頸がん	1回	247	6	2.4%	13歳 ～ 16歳になる女性
	2回	247	3	1.2%	
	3回	247	2	0.8%	
インフルエンザ	1回	7,562	4,900	64.8%	65歳以上
高齢者肺炎	1回	1,033	304	29.4%	令和2年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者、100歳以上になる者
風しん	抗体検査	1,351	282	20.9%	昭和41年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性（予防接種は、抗体検査の結果「抗体なし」と判断された者）
	予防接種		63		

事業の成果

予防接種を実施することにより、伝染の恐れがある疾病及びまん延を予防する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	194,227	190,394	1,216	8,949			180,229

令和2年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	地域における65歳以上の高齢者ができる限り要介護状態に陥る事なく、健康でいきいきとした生活が送れるよう、介護予防事業の充実を図ります。

事業の実施内容

1．一般高齢介護予防通所事業（地域型）

地域の公民館を拠点に、地域ボランティアの協力のもと、健康チェックやレクリエーション等を通して生きがいと健康づくり、介護予防、交流の場の提供、社会参加の促進と社会的孤立感の解消等の支援をしました。

主な経費：一般高齢介護予防通所事業委託料　11，157千円
実施自治会等：19カ所
延べ利用者数：1，575人

2．食の自立支援サービス事業（配食サービス）

毎日の食事の確保が困難な高齢者の栄養バランスを整えるとともに、定期的な訪問による安否の確認を行うことで、食の確保と健康維持、安全を確認する等の生活の支援をしました。

栄養改善事業（配食サービス）
主な経費：栄養改善事業委託料　2，045千円
実利用者数　：28人　　配食数　：4，800食

3．高齢者水中運動教室

膝・腰などの関節に疾患がある方等を対象に、水中で浮力を使って効果的に運動することにより、身体機能を高めバランス能力を向上させ転倒予防を図りました。

主な経費：一般介護予防事業　水中運動教室委託料（一般・フォローアップクラス）2，415千円
短期C介護予防・生活支援サービス事業　水中運動教室委託料（通年）　1，728千円
参加者数：一般クラス　18人　　フォローアップクラス　25人
短期C　22人

4．運動機能向上事業（《元気アップ事業》訪問型サービス事業）

健康運動指導士・リハビリテーション職の専門職が、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者の居宅を訪問し、要介護状態等になることを予防します。今年度申請のあった方は介護保険による継続的な訪問リハビリが適していると判断したため利用者はいませんでした。

主な経費：　講師謝礼金　0千円
利用者数：　0人（実施回数：0回）

5．運動機能向上事業（通年型介護予防事業）

自主活動に繋げることを条件として希望する1地区へ、字公民館にて、毎週1回運動指導士や介護予防看護師を派遣することにより運動習慣を身につけ、筋力柔軟性の向上を図ることで要介護状態となることを予防するための支援をしました。

主な経費：　講師謝礼金　264千円
実施場所：　山川集落センター・与那覇公民館
参加人数：　18人（実施回数：42回）

6．介護予防サポーター養成講座

介護予防の重要性についての講話や体操等の実技指導を行うことで、介護予防の担い手として活動する地域の介護予防サポーターを養成します。新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

主な経費：　講師謝礼金　　0千円

次ページへつづく →

事業の実施内容

7．リハビリテーション専門職派遣事業

地域における介護予防の取り組みを機能強化し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。

主な経費： 講師謝礼金　224千円
実施場所： ちむぐくる館、各字公民館・集会所（一般高齢介護予防通所事業(地域型)）
実施回数： 25回

8．その他各種介護予防事業等

①一般介護予防事業　高齢者筋力トレーニング教室（通年）

専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費： 委託料　1，728千円
参加者数：57人

②介護予防・生活支援サービス事業　高齢者筋力トレーニング教室（通年）

専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費： 委託料　1，778千円
参加者数：22人

③サーキットマシントレーニング教室

個々の力に合わせて負荷調整が出来る油圧式マシン利用等により、運動機能の維持・向上と運動習慣の定着化を図ります。コロナウイルスの影響で中止となりました。

主な経費： 委託料　0千円

④操体事業

介護予防を目的とした健康体操の一つとして、操体法の講師を月2回派遣し、高齢者の運動機能の低下防止を図りました。

主な経費： 講師謝礼金　135千円
実施場所：ちむぐくる館、津嘉山公民館
参加者数： 49人（延べ408人）

⑤総合事業プラン作成委託料

要支援1．2及び基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントしました。

主な経費： 総合事業プラン作成委託料 3，321千円

9　その他
介護予防事業をスムーズに行うための経費
イ、介護予防事業保健師・看護師報酬　7，325千円
ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等　431千円
ハ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査　0千円
ニ、施設使用料　20千円

事業の成果

介護保険事業における地域支援事業を活用し、令和2年度は介護予防・日常生活支援総合事業として、介護予防・生活支援サービス及び一般介護予防事業を実施し、高齢者（65歳以上）が要介護状態にならないための予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を図ることができました。新型コロナウィルス感染拡大防止のため実施できない事業もありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	36,353	32,571				32,571	0

令 和 ２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認知症施策推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行います。認知症理解や地域での見守りを広げるための活動を行っていきます。

事業の実施内容

認知症地域支援推進員を配置し、個別訪問を中心に活動し、本人や家族に対して認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行っています。
認知症の理解や地域での見守りを広げるため、認知症サポーター養成講座を開催しています。
認知症初期集中支援チームにて、早期に医療・サービスにつなぐ支援を実施しました。
・認知症地域支援推進員の主な仕事
(1)認知症の人やその家族を支援する相談業務
(2)医療機関や介護サービス地域の支援機関をつなぐコーディネーター
(3)認知症に関する理解・知識・制度等の住民への周知
(4)認知症サポーター養成講座の実施
(5)認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供

・活動実績
対応件数（延べ）：876件

認知症サポーター養成講座
開催回数：4回

認知症初期集中支援チーム
チーム員会議6回

主な経費　看護師嘱託員報酬等：２，695千円
初期集中支援チーム委託料54千円

事業の成果

認知症本人・家族への個別相談を中心に活動しました。
認知症サポーター養成講座を町内4小学校で実施し、認知症に関する理解を拡めることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,908	2,749				2,749	0

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

				予算科目			
事業名	介護保険運営事業				会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	介護保険事業費	09

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	沖縄県介護保険広域連合	介護保険事業の安定的な運営を図ります。

事業の実施内容

1．令和2年度沖縄県介護保険広域連合への負担金明細

単位：円

会計区分	事業項目	負担金額
一般会計	共通経費	41,579,034
	介護認定に関する経費	17,305,827
	国・県補助事業に関する経費	8,776,648
	令和元年度決算に伴う負担金	12,247,890
一般会計に要する経費小計		79,909,399
特別会計	介護給付に要する経費	275,312,674
	地域支援事業に係る負担金	21,767,420
特別会計に要する経費小計		297,080,094
介護保険広域連合負担金合計		376,989,493

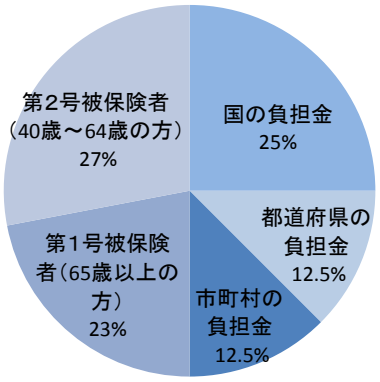
2．その他の経費

イ、介護保険窓口業務臨時職員賃金　　1，831千円

ロ、消耗品費、通信運搬費、委託料等　　113千円

【 介護保険の負担割合率 】

全体（100%）
- 公費（50%）
  - 国の負担金 ・・・・・・・・（25%）
  - 都道府県の負担金 ・・（12.5%）
  - 市町村の負担金 ・・・・（12.5%）
- 保険料（50%）
  - 第1号被保険者 ・・・・・（23%）（65歳以上の方）
  - 第2号被保険者 ・・・・・（27%）（40歳～64歳の方）



事業の成果

介護給付・予防給付費に要する費用の一部を負担することにより、保険料やサービスの適正化等が図られています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	378,936	378,933					378,933

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	宮平保育所運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	就労家庭等保育を必要とする世帯の子どもたち。	家庭に代わりこども達が安全で楽しく過ごせるよう保育に努めます。支援を必要とする子への適切な対応、早期発見が望まれるようなケースについても、先駆けとなって丁寧な保育に取り組んでいきます。

事業の実施内容

宮平保育所運営事業

主な経費

○ 会計年度任用職員報酬等　　28，120千円
日常の保育業務を行う臨時職員（保育士）や、非常勤の調理員を雇用しており その賃金として使われています。

○ 給食材料費　　4，924千円
栄養のバランスがとれた園児の給食・おやつ・ミルクの材料費として使われています。

○ 光熱水費　　2，371千円
保育所を運営するために必要なエネルギーである、電気・水道・ガスの使用料金として使われています。

○ 消耗品　　1，098千円
保育用教材・薬品・洗剤や、施設内の消耗品・事務用品等の購入に使われています。

○ その他の費用　　3，313千円
保育所を運営するために必要不可欠な行事費、健康診断料、施設の修繕費、電話料金、保険料、衛生管理費等として使われています。

運動会では友達と一緒に力を合わせてがんばる

遊びの中で文字への興味・関心がふくらみます。

事業の成果

保護者と連携を図りながら、乳幼児期のこども達の健やかな成長・発達を促し、保育の充実と子育ての支援に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	41,255	39,826					39,826

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可保育園事業・補助(保育所運営費)			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
認可保育園に在籍する児童とその保護者	就労等で保育が必要な保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保します。

事業の実施内容

1. 入所児童数 (令和3年3月1日現在)

単位:人、%

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
宮平保育所	60	6	8	12	15	13	0	54	90.0%
公立計	60	6	8	12	15	13	0	54	90.0%
津嘉山保育園	160	24	30	30	33	33	18	168	105.0%
かねぐすく保育園	100	9	18	17	21	22	13	100	100.0%
南風原はなぞの保育園	141	21	24	24	28	25	22	144	102.1%
若夏保育園	120	24	28	28	26	25	0	131	109.2%
みつわ保育園	136	14	28	28	28	25	15	138	101.5%
さんご保育園	180	17	35	30	36	30	27	175	97.2%
はえばる保育園	150	21	36	35	38	35	0	165	110.0%
マイフレンズ保育園	120	18	20	20	22	21	9	110	91.7%
ていだ保育園	120	18	24	23	29	27	0	121	100.8%
なのはな保育園	120	15	23	24	27	25	9	123	102.5%
よなは保育園	97	12	17	18	18	18	17	100	103.1%
ももの木保育園	60	9	12	14	20	20	0	75	125.0%
やまがわ保育園	77	9	12	24	22	23	0	90	116.9%
南風原やまびこ保育園	60	9	9	12	15	11	0	56	93.3%
明星保育園	90	12	18	18	25	4	4	81	90.0%
よなは第2保育園	72	18	18	18	18	0	0	72	100.0%
広域入所	－	0	1	1	1	3	1	7	－
私立計	1,803	250	353	364	407	347	135	1,856	102.6%
合計	1,863	256	361	376	422	360	135	1,910	102.1%

2. 運営費支弁額 (令和2年度実績)

単位:千円

施設名	運営費
津嘉山保育園	179,971
かねぐすく保育園	113,520
南風原はなぞの保育園	164,450
若夏保育園	170,774
みつわ保育園	149,378
さんご保育園	193,340
はえばる保育園	188,748
マイフレンズ保育園	122,467
ていだ保育園	146,991

施設名	運営費
なのはな保育園	138,472
よなは保育園	120,157
ももの木保育園	112,008
やまがわ保育園	111,912
南風原やまびこ保育園	83,133
明星保育園	70,275
よなは第2保育園	78,925
広域入所	6,210
合計	2,150,731

事業の成果

保育所において家庭や地域社会と連携を図り、こどもが安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,157,851	2,150,731	1,060,515	439,372	0	182,166	468,678

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	延長保育促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	法人保育園に入所した児童	法人保育園における保育士配置の充実を図ることにより11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の推進を図ります。

○　認可保育園延長保育促進事業補助金（18園）　10，876千円
　　利用者延人数(24，216人)　　1日平均108人
- 対象児童は実際に延長保育を利用した保育所入所児童です。
- 対象児童に対し、適宜、間食等を提供します。
- 保護者が仕事をする上で終業が遅くなったときなど、いざというときに頼れるサービスがあることで安心してこどもを預ける事ができます。

延長保育促進事業利用状況（各月1日当たり平均人数）　　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日平均計
津嘉山保育園	2	3	6	4	3	4	5	5	5	4	5	4	4
かねぐすく保育園	6	4	9	9	5	9	8	7	9	7	7	7	7
南風原はなぞの保育園	3	2	6	7	4	7	8	7	11	7	7	9	7
若夏保育園	4	3	7	7	6	7	8	8	7	7	8	7	7
みつわ保育園	8	7	14	17	8	13	13	13	13	12	13	11	12
さんご保育園	6	8	12	13	11	14	13	15	16	14	15	16	13
はえばる保育園	2	1	4	4	2	3	3	4	6	4	4	5	3
マイフレンズ保育園	2	2	8	8	4	8	6	8	10	7	8	7	6
ていだ保育園	6	7	12	14	8	13	13	16	15	17	15	17	13
なのはな保育園	2	4	8	9	4	7	9	4	8	7	7	7	6
よなは保育園	3	3	5	5	6	7	11	7	8	9	8	9	7
ももの木保育園	3	6	8	6	4	6	5	5	5	4	4	5	5
やまがわ保育園	3	2	3	3	2	3	3	4	4	5	4	5	3
南風原やまびこ保育園	3	2	4	4	4	5	4	5	5	5	5	5	4
開邦幼稚園	5	4	4	5	4	3	4	4	4	4	4	8	4
よなは第２保育園						5	3	3	4	4	4	7	4
めだか保育園	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2	2	1
ぱすてる保育園つかざん園	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	57	59	111	117	76	117	120	117	130	120	121	131	108

○新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金　　2，095千円
　新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、延長保育の実施に必要な消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）を購入した認可保育園等に対して補助を行いました。

事業の成果

就労形態の多様化等に伴いやむを得ない理由で、通常保育時間内（7時～18時）に保育園へ児童の送り迎えができない保護者に対して、延長保育を実施し安心して子育てができる環境を整備することにより、保育の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,952	12,971	5,720	3,625			3,626

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	障がい児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園に通う障がい児を受け入れている園を対象とします。	保育を必要とし、かつ軽度の心身障がいを有する児童に対して、集団保育の中で適切な指導を実施することによって、健常児とともに健全な成長、発達を促すことを目的とします。

事業の実施内容

1．南風原町障がい児保育事業実施要綱等により行う事業に対して補助を行いました。

＊基本額（160,000円）＝時給（800円）×200時間（8h×月25日）

児童3名に対して保育士等1人配置を基本とする。　　決算額　：　19，608千円

※保育士資格所持の場合

	児童数	月額	差額
基本額－20％	1	128,000	－32,000
基本額－10％	2	144,000	－16,000
基本額＋－0	3	160,000	0
基本額＋10％	4	176,000	＋16,000
基本額＋20％	5	192,000	＋32,000

令和2年度　障がい児等保育事業補助金実施実績

保育園名	児童数	月額	年額	
宮平保育所	－			
津嘉山保育園	1	128,000	1,536,000	
南風原はなぞの保育園	2	144,000	1,728,000	
みつわ保育園	4	176,000	2,112,000	
さんご保育園	2	144,000	1,728,000	
はえばる保育園	2	144,000	1,728,000	
ていだ保育園	2	119,000	1,428,000	※特別支援児
なのはな保育園	1	128,000	1,536,000	
よなは保育園	2	144,000	1,728,000	
ももの木保育園	1	103,000	1,236,000	
やまがわ保育園	4	176,000	2,112,000	
南風原やまびこ保育園	2	144,000	1,728,000	
よなは第2保育園	2	144,000	1,008,000	
合　計	25	－	19,608,000	

※特別支援児
アナフィラキシー症状など、特別に支援が必要な児童で診断書提出が必須

事業の成果

障がい児保育事業は、障がい児の発達と障がい児保育の総合的な推進を図るため、集団保育が可能な障がい児保育を支援・実施する事業です。有識者による巡回指導、障がい児交流会、障がい児研究発表会なども行っております。巡回指導により、保育士が障がい児との関わり方を学び、さらに、成長・発達課題をしっかりおさえ、児童にあった働きかけを大切にすることで、社会性を育てるなど、障がい児保育事業の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,312	19,608					19,608

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の法人保育園等	法人保育園の保育士確保と定着を図るため保育園職員給与の補助を行い、園運営の基盤を整えます。

事業の実施内容

主な経費

① 法人保育園職員給与補助金　　7，060千円
法人保育園・職員（勤務8h）1人当たり月1，500円の補助をしています。

法人保育園等の状況　　単位：人

保育園名	児童定員	対象職員数	児童数
津嘉山保育園	160	35	168
かねぐすく保育園	100	26	100
南風原はなぞの保育園	141	32	144
若夏保育園	120	28	131
みつわ保育園	136	29	138
さんご保育園	180	31	175
はえばる保育園	150	34	165
マイフレンズ保育園	120	23	110
てぃだ保育園	120	23	122
なのはな保育園	120	26	123
よなは保育園	97	26	100
ももの木保育園	60	20	75
やまがわ保育園	77	24	90
南風原やまびこ保育園	60	17	56
よなは第2保育園	72	10	72
明星保育園	90	26	81
めだか保育園	18	7	20
くわの実保育園	19	13	22
合計　（18保育園）	1,840	430	1,892

資料：児童定員・児童数については、令和3年3月1日現在

事業の成果

保育士確保と定着を図ることで、認可保育園の運営基盤を支え、円滑な保育運営と保育環境を整えることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,309	7,060					7,060

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域型保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域型保育施設（小規模・事業所内保育施設）	事業所の施設等で従業員の児童を保育すると共に、地域枠を設け0歳～2歳児の保育を実施することで、待機児童の解消を行う。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和3年3月1日現在）

○小規模保育施設

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計	
めだか保育園	18	2	6	12	20	
くわの実保育園	19	6	6	10	22	
たいようのおか保育園	19	5	6	11	22	
ぱすてる保育園つかざん園	19	6	6	10	22	※R2.4月開所
合計	75	19	24	43	86	

○事業所内保育施設　※町内在住者のみ

施設名	地域枠	従業員枠	合計
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	10	12	22
町内施設　計	10	12	22
キティーハウス（西原町）	－	1	1
きらら保育園（八重瀬町）	－	7	7
ふたば保育園（豊見城市）	－	2	2
もこもこ保育園（浦添市）	－	1	1
ゆたかベビーガーデン（豊見城市）	－	1	1
広域入所　計	－	12	12
合計	10	24	34

○地域型保育事業は、平成27年度より施行された子ども・子育て支援制度に伴い市町村が設置認可・確認を行い、待機児童の多い0歳児から2歳児を受け入れる施設です。その中のひとつである事業所内保育事業は、事業所の所在地の各市町村が設置認可・確認した事業所内保育所にて、従業員の児童以外に地域の待機児童の受け入れを行い、待機児童の解消を図っています。令和2年度現在、町認可施設として小規模保育施設4園、事業所内保育施設1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和2年度実績）

単位：千円

施設名	①公定価格	②利用者負担額	支弁額(①-②)	備考
めだか保育園	45,258	5,093	40,165	
くわの実保育園	51,715	4,849	46,866	
たいようのおか保育園	51,208	5,059	46,149	
ぱすてる保育園つかざん園	56,764	5,380	51,384	
小規模保育運営費（小計）	204,945	20,381	184,564	
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	38,006	2,479	35,527	
キティーハウス（西原町）	1,834	198	1,636	
きらら保育園（八重瀬町）	10,099	1,585	8,514	
ふたば保育園（豊見城市）	2,622	92	2,530	
もこもこ保育園（浦添市）	1,428	383	1,045	
ゆたかベビーガーデン（豊見城市）	1,673	119	1,554	
さくらの子（豊見城市）	1,693	252	1,441	4月～11月
事業所内保育運営費（小計）	57,355	5,108	52,247	
合計	262,300	25,489	236,811	

事業の成果

地域型保育施設にて、0歳～2歳の子どもを受け入れる事で、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	240,520	236,811	126,340	48,344	0	0	62,127

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	保育対策総合支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立宮平保育所 町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

1. 保育体制強化事業
　保育体制強化事業補助金　　9，970千円
実施園9園（南風原はなぞの保育園、みつわ保育園、さんご保育園、よなは保育園、ももの木保育園、やまびこ保育園、やまがわ保育園、よなは第2保育園、明星保育園）
※保育士資格を有しない保育補助者を採用した認可保育園に対して補助（人件費分）を行いました。

2. 保育補助者雇上強化事業
　保育補助者雇上強化事業補助金　　12，035千円
実施園8園（さんご保育園、ていだ保育園、なのはな保育園、よなは保育園、ももの木保育園、よなは第2保育園、明星保育園、ぱすてる保育園つかざん園）
※保育士資格を有しない保育補助者を採用した認可保育園に対して補助（人件費分）を行いました。

3. 保育士宿舎借上支援事業
　保育士宿舎借上支援事業補助金　　765千円
実施園2園（ももの木保育園、よなは第2保育園）
※保育士の宿舎を借り上げした認可保育園に対して補助（家賃等）を行いました。

4. 認可外保育施設衛生・安全対策事業
　認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金　　122千円
実施園3園（なでしこ学園、さくら保育園、なないろ乳幼児園）
※保育士等の感染症罹患の有無を発見するため、健康診断を受診した認可外保育施設に対して補助（健康診断代）を行いました。

5. 保育環境改善等事業
・町立宮平保育所（消耗品費、備品購入費）　　497千円
・保育環境改善等事業補助金　　10，406千円
実施園28園（津嘉山保育園、かねぐすく保育園、南風原はなぞの保育園、若夏保育園、みつわ保育園、さんご保育園、はえばる保育園、マイフレンズ保育園、ていだ保育園、なのはな保育園、よなは保育園、ももの木保育園、やまがわ保育園、やまびこ保育園、よなは第2保育園、明星保育園、よいサマリヤ人保育園、めだか保育園、くわの実保育園、たいようのおか保育園、ぱすてる保育園つかざん園、なないろ乳幼児園、なでしこ学園、さくら保育園、心和保育園、キラキラすまいる保育園つかざん園、みらい保育園つかざん園、ゆかぜ保育園）
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）を購入した認可保育園等に対して補助を行いました。

事業の成果

保育対策総合支援事業は、保育士の業務や健康面での支援を行い、就業継続・離職防止を図る事業や保育士資格を有しない保育補助者に保育士資格の取得を促し、保育人材の確保を図る事業、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する事業などを実施することにより、日々、園児を対応している保育士等の業務環境の改善・充実を推進及び感染症拡大を防止する対策を図ることが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	63,475	33,795	14,386	18,086			1,323

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

				予算科目			
事業名	保育所等整備交付金事業				会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	保育施設の整備を行う町内の認可保育園（現年度分）	南風原町子ども・子育て支援事業計画に沿って、待機児童の解消に向けて施設整備を行い定員の拡充を図ります。

事業の実施内容

1．保育所等整備交付金事業（2園）
※3カ年事業(H30～R2年度)

		支出額
（新設） よなは第2保育園 ※令和2年8月開園	定員72人	113，930千円
（新設） 明星保育園 ※令和2年8月開園	定員90人	83，636千円
		合計　197，566千円

※対象経費　6／8国、1／8町、1／8園が負担します。

よなは第2保育園

明星保育園

事業の成果

待機児童解消を目的に2園（よなは第2保育園、明星保育園）の施設整備を平成30年度から進め、令和2年度に完成し8月に開園しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	197,566	197,566	169,343	21,572			6,651

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可外保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可外保育園及び町外の認可外保育園を利用する町内児童	認可外保育園の保育の充実と児童の福祉向上を図ります。

事業の実施内容

1. 切手代　17千円
町外認可外保育児童助成金対象者への決定通知書及びアンケート送付に伴う切手代。

2. 認可外保育園運営補助金（一般援護費）　1，745千円
認可外保育施設に入所する児童の福祉の向上を図るため、町内児童の処遇に要する経費として1人月1,500円を補助します。
※ 令和2年度は町内3ヶ所の認可外保育園（なでしこ学園、さくら保育園、ないろ乳幼児園）へ補助金を交付しました。

3. 保育園及び園児の傷害保険補助（特別援護費）　18千円
保育中の園児に事故があった場合に対応するため、保育園でかけている傷害保険の保険料分を町が1人800円補助します。
※ 令和2年度は町内1ヶ所の認可外保育園（さくら保育園）へ補助金を交付しました。

4. 保育園児の歯科検診料補助（特別援護費）　53千円
町内に住所を有する児童の歯科検診料を町が1人750円補助します。
※ 令和2年度は町内2ヶ所の認可外保育園（さくら保育園、ないろ乳幼児園）へ補助金を交付しました。

5. 町外認可外保育園に通う町内児童へ補助をしています。　342千円
園児1人当たり月1,500円の補助をします。
※令和2年度は年2回の申請受付にて延べ42名の児童へ補助金を交付しました。

事業の成果

入所する児童の処遇に要する経費及び保険料等を補助することで、認可外保育園の運営を助長し福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,667	2,175	1,721				454

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可外保育園事業・補助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可外保育園	認可外保育園に通う園児の健康診断費等の補助及び保育園への研修費等や施設の改修等の補助を行い、園児の成長と保育園の充実を図ります。

事業の実施内容

1．南風原町認可外保育事業補助金　　468千円

認可外保育施設に入所する児童及び勤務する職員の、健康管理に要する経費や給食費等を補助します。

種目	基準額	対象	補助金額
児童の健康診断費	内科検診　1，000円×児童数×2回以内	入所児童	274千円
	歯科検診　　750円×児童数×1回		103千円
給食費	給食費(1) 0歳児　31円×児童数×24日×12月 1～5歳児　99円×児童数×24日×12月	入所児童	0千円
	給食費(2) 0歳児　56円×児童数×24日×12月 1～5歳児　156円×児童数×24日×12月		
	給食費(3) 0歳児　87円×児童数×24日×12月 1～5歳児　231円×児童数×24日×12月		
賠償責任保険料	300円（児童1人あたり）×1回	入所児童	37千円
調理員検便費	1，500円（調理員1人あたり）×実施月数	調理員	54千円

※この事業には県からの補助金（9/10補助）が含まれています。

2．認可外保育園研修事業補助金　　348千円

県が実施する研修を受講した認可外保育園に対して、保育材料等を購入する経費の一部を補助します。
令和2年度は、3園の認可外保育園（なでしこ学園、さくら保育園、ないろ乳幼児園）に補助金を交付しました。

事業の成果

入所する児童の健康診断を行い、賠償責任保険費等を支給することで、児童の健康管理につなげることができました。
また、園の職員の研修参加や保育材料購入及び修繕の補助を行うことで、保育園運営の助長および職員の資質向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	885	816		750			66

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	母子父子家庭医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者が養育する、父母のいない児童	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

令和2年度　母子及び父子家庭等受給者数調

区分／保険種別	母子家庭		父子家庭		養育者家庭	計	
	母	児童	父	児童	児童	父母	児童
国保分	166	307	25	41	4	191	352
社保分	393	643	32	47	2	425	692
合計	559	950	57	88	6	616	1044

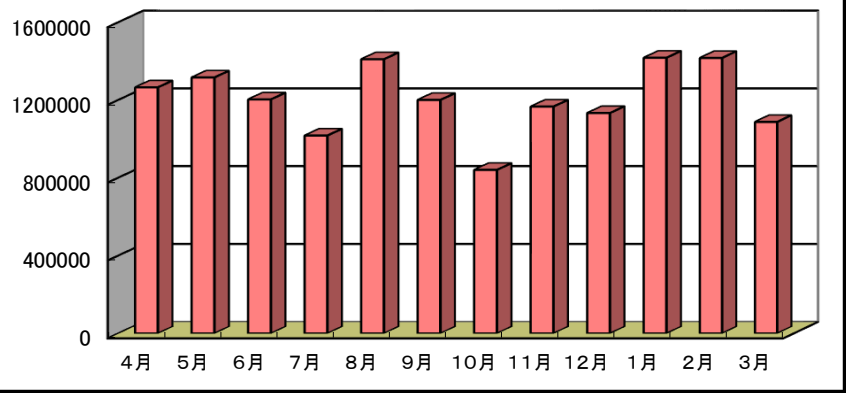
【令和2年度　助成実績】

◆　母子父子家庭医療費助成金　　扶助費決算額：　14，465　千円

（単位：円）

令和2年度　母子父子家庭医療費助成金

	助成額
4月	1,264,589
5月	1,315,375
6月	1,202,505
7月	1,016,570
8月	1,409,285
9月	1,199,900
10月	839,813
11月	1,165,590
12月	1,132,450
1月	1,416,933
2月	1,415,774
3月	1,086,611
合計	14,465,395



＊　通院の場合、1月1診療機関につき1，000円（一部負担金）を控除した額が助成となります。
【医科・歯科別総合病院においては、各診療科ごとに1，000円を控除した額を助成致します。】

＊　さらに、上記1，000円（一部負担金）は、平成26年度よりこども医療費にて負担しております。

事業の成果

雇用状況や、経済基盤の不安定な母子父子家庭の親と子、養育者家庭の子に対し、医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）から一部負担金を控除した額と入院時食事療養費の1／2を助成することにより、経済的な負担軽減を図りました。また、平成30年1月受診分より自動償還方式を導入することにより、手続の簡略化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,661	14,465		7,212			7,253

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	こども医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	衛生費	04
連絡先	889－7028				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町に住所を有する0歳～中学卒業（3月31日）までのこども	こどもの医療費の一部を助成することにより、健康の増進を図り、こどもの健やかな成長に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

【 令和2年度　こども医療費助成実績 】

◆ 扶助費決算額:179,922千円

単位:円

令和元年度　こども医療費助成				
	助成対象者数（人）	助　成　額　（円）		
		償還分払分	現物給付分	助成額合計
4月	8,142	881,522	16,889,080	17,770,602
5月	8,163	487,899	17,638,156	18,126,055
6月	8,211	468,521	12,352,184	12,820,705
7月	8,265	575,300	8,734,753	9,310,053
8月	8,325	434,830	14,222,715	14,657,545
9月	8,370	526,304	14,800,960	15,327,264
10月	8,424	457,498	12,846,751	13,304,249
11月	8,480	314,046	11,732,498	12,046,544
12月	8,511	485,716	17,979,207	18,464,923
1月	8,553	377,671	14,418,124	14,795,795
2月	8,595	435,409	16,292,837	16,728,246
3月	8,635	395,444	16,174,009	16,569,453
	合計	5,840,160	174,081,274	179,921,434

＊　平成29年1月診療分より現物給付方式（窓口無料化）を導入しました。

◆ 印刷製本費（南風原町こども医療費助成金受給資格者証）　決算額:　15千円

◆ 手数料（自動償還及び現物給付の実施に伴う事務手数料）　決算額:　4,578千円

事業の成果

医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）の全額を助成することにより、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立っています。また、平成29年1月に導入した現物給付方式（窓口無料化）により、より一層、安心して子育てができる環境を整えることができました。同時に、医療費を窓口で支払うことが困難な為に受診を控えていたこどもも、他のこどもと同様に医療を受けることができるようになりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	191,087	184,515		50,851			133,664

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	子供の貧困緊急対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

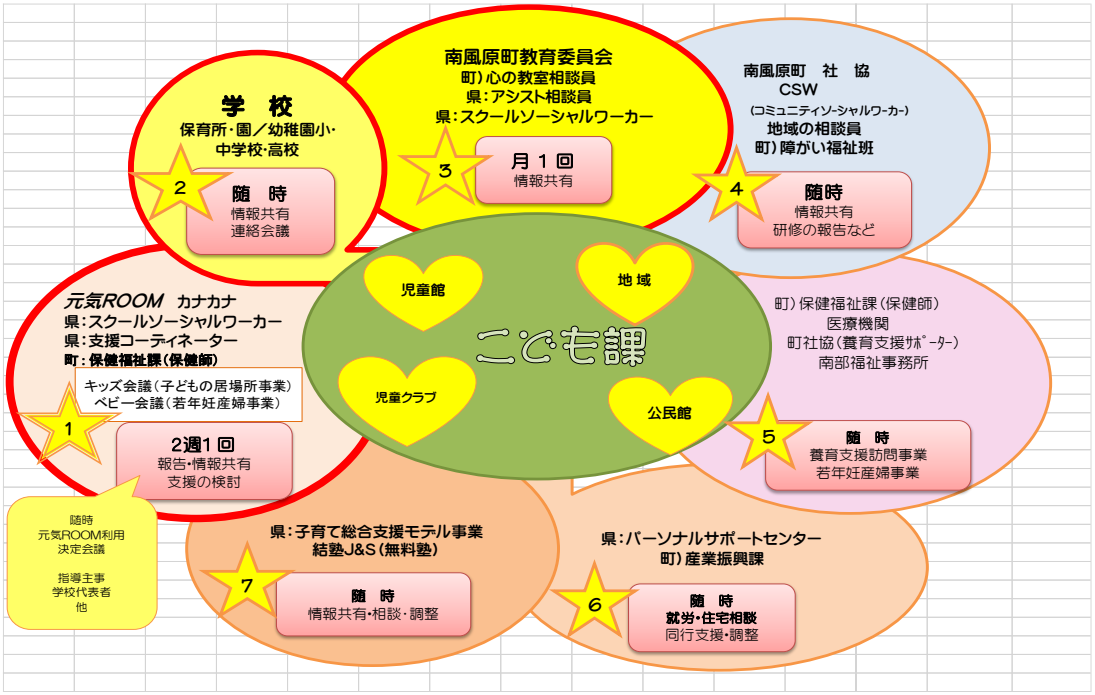
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯の福祉の向上と、孤立（貧困）連鎖の打破に努めます。

事業の実施内容

・子どもの貧困対策支援員配置事業

子どもの貧困対策支援員（子ども元気支援員）が地域に出向いたり関係機関からの情報を受け子どもの孤立（貧困）の現状を把握し、学校や学習支援施設、子どもの居場所づくりを行う事業所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援につなげる事業です。

子ども元気支援補助員（2人）　　4，214千円



・使用料及び賃借料

公用車リース料　　370千円

・子どもの居場所、若年妊産婦の居場所の運営支援事業　　31，877千円

元気ROOM（子どもの居場所）、ママ笑みROOM（若年妊産婦の居場所）において必要な支援を提供

①生活支援　　④食事支援（提供）
②学習支援　　⑤保護者の支援（養育支援）
③文化的活動支援　　⑥若年妊産婦等支援

事業の成果

○支援が必要な子どもを把握し元気ROOM等へ繋げることができました。また、元気ROOMを利用することで衛生の保持、基礎学習、食の確保等を支援し福祉の向上が図られました。
○元気ROOMで生活支援をすることで心を開いてくれた子ども達も多く、その支援により不登校の未然防止につながりました。
○保護者と信頼関係を築き養育支援をすることで、生活環境の改善や行政サービスへつなぐことができました。
○これまでの子ども支援に加え、令和元年度から新たに若年妊産婦等に心の安まる居場所を提供し安心して出産・子育てができるよう専門的知識を持った助産師等と一緒に包括的に支援をすることで不安や孤立を解消し必要な行政サービスへつなぐことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	37,136	36,461	36,000				461

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	病児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町在住のおおむね生後6ヶ月から小学3年生までの児童で、病気治療中又は、回復期にある病児保育を必要とする児童	児童が病気の治療中又は回復期にあり、集団保育および保護者による保育が困難な場合に、適切な処遇が確保される施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図る。

事業の実施内容

平成27年度より、町内の医療機関へ委託して病児保育事業を実施しています。

○実施施設
医療法人わらべの会　わんぱくクリニック
南風原町字津嘉山1490番地　メディカルプラザつかざん2F

○利用時間

月～土	午前8時45分から午後5時30分まで（第5土曜日は午後1時まで）
休業日	日曜日・祝祭日・（第5土曜日は午後1時から休業）

○利用料金

区分	生活保護世帯	生活保護世帯以外
1日利用料	0円	1,500円
半日利用料		1,000円

1．病児保育事業委託料　　8，467千円
（内訳）(1)基本額　　2,469,000　円
(2)利用人数に応じた委託料(500～550人)　　5,998,000　円
(3)利用料免除額(生保による被保護者)　　0　円

2．病児保育施設年度別利用児童数

年度	実績												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
H27	27	26	32	37	41	34	19	15	20	20	29	32	332
H28	38	23	24	30	39	21	21	11	12	4	6	28	257
H29	9	23	43	36	21	25	15	33	35	36	21	27	324
H30	18	45	28	20	52	35	41	31	43	36	40	32	421
R１	33	33	67	60	45	62	39	40	21	32	46	58	536
R２	15	0	28	23	4	22	28	30	35	12	0	11	208

3．新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金　　500千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）の購入費用の補助を行いました。

事業の成果

保護者が就労している場合等に、子どもが病気の治療中又は回復期にある児童を、安心して預ける事のできる病児保育施設に一時的に預ける事で、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,967	8,967	3,322	2,822			2,823

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童館運営事業・単独			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の幼児から高校生	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とします。

事業の実施内容

【児童館の内容】

・クラブ活動
（一定期間継続して行う児童の活動で、多種多様に各児童館ごとに実施）

・子ども教室
（定期的に各館で開かれる手芸や工作、クッキング教室等）

・4児童館合同行事　※R2年度は新型コロナウイルスの影響により未開催
（芸術鑑賞会、野外活動、児童館まつり等）

（単位：円）

主な経費	決算額
児童厚生員報酬（12名）	15,993,651
職員手当等（12名）	2,199,414
クラブ活動等に伴う報償費	496,000
消耗品費	629,690
光熱水費	620,106
その他	4,297,564
合 計	24,236,425

年間利用者数	
北丘児童館	8,749 人
兼城児童館	10,077 人
本部児童館	8,203 人
津嘉山児童館	8,028 人
合計	35,057 人

○本部児童館　節分(恵方巻き)

○兼城児童館　ハロウィン

事業の成果

子どもの居場所確保・活動の拠点として、行事の種類が増え、クラブ活動や子ども教室も盛んに行われたことで、仲間づくりや健康増進が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	25,361	24,236					24,236

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学童保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間 博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かる学童クラブ	学童クラブに補助金を交付することにより、労働等により昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とします。

事業の実施内容

●学童クラブ支援員等資質向上研修委託料　798,239円
資質向上研修を行うことで放課後児童支援員等の専門性の向上や児童クラブ間の格差を解消し、平準化を図ることを目的としております。

●学童保育事業・補助　　271,248,000円
本町にある下記の21箇所（24支援）の学童クラブへそれぞれ補助金を支出しました。

学童クラブ別児童数及び補助金一覧　（単位：千円）

学童クラブ名	学童クラブ補助金（運営費）	障害児受入強化推進事業	支援員等処遇改善事業	送迎支援事業	運営支援事業（家賃補助）	環境改善事業	新型コロナウイルス特例措置
みやび学童クラブ	6,286	0	1,677	0	0	0	2,033
よなは学童クラブ	8,366	0	1,677	493	0	0	2,565
よなは第2学童クラブ	8,366	0	1,677	493	600	0	2,645
北丘学童クラブ	6,052	0	1,677	0	0	0	2,522
第2北丘学童クラブ	5,614	0	1,677	0	450	0	2,039
学童クラブⅥ-ⅤA	5,962	0	1,677	0	0	0	1,094
学童クラブⅥ-ⅤAぷらす	5,900	0	1,677	0	0	0	1,151
こもれび学童クラブ	6,233	0	1,677	0	600	0	1,668
こがね森学童クラブ	7,953	0	1,677	0	0	0	1,092
第二こがね森学童クラブ	8,033	0	1,677	0	0	0	2,293
キッズクラブ　カナカナ	7,584	0	1,677	0	0	0	2,419
キッズクラブ　リンク	5,918	0	1,677	0	480	0	2,183
ドルチェ学童クラブ	8,097	0	1,677	0	0	0	2,187
第二ドルチェ学童クラブ	7,398	0	1,677	0	0	620	1,288
いこい学童クラブ	7,862	1,900	1,677	0	600	0	2,268
いこい第二学童クラブ	5,472	0	1,677	0	252	926	1,946
翔南学童クラブ	7,917	0	1,677	0	0	0	1,306
みつわ学童クラブ	8,133	1,900	1,524	0	600	0	1,026
学童クラブわんぱく家	6,164	0	1,677	0	0	0	1,724
学童クラブうーまく家	8,186	0	1,677	0	600	0	2,332
竹の子学童クラブ	5,771	0	1,677	0	0	2,902	1,751
第二竹の子学童クラブ	6,125	0	1,677	0	420	0	1,751
津嘉山学童クラブ	8,331	633	1,677	0	0	0	2,561
津嘉山うむさ学童クラブ	8,295	0	1,677	0	600	0	2,222
合計24支援	170,018	4,433	40,095	986	5,202	4,448	46,066
					合計		271,248

※　障害児受入強化推進事業
3人以上の障害児の受け入れを行う場合に対象になります。

事業の成果

昼間保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することができ、その健全な育成が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	311,132	272,046	90,815	90,416			90,815

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後児童の居場所づくり支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
建物を賃貸している学童クラブ、生活保護世帯及びひとり親世帯の児童の保育料を減免した学童クラブ	家賃補助をすることで保育料を軽減し、また生活保護世帯及びひとり親世帯の児童の利用料を一部補助することにより、子どもの居場所である学童クラブを利用しやすくします。

・放課後児童の居場所づくり支援事業　　10,415千円

内訳：　家　賃　補　助　　5,494千円　　保育料減免補助　　4,921千円

●家賃補助	補助金額（円）
よなは学童クラブ	600,000
北丘学童クラブ	600,000
こがね森学童クラブ	420,000
第2こがね森学童クラブ	468,000
キッズクラブカナカナ	490,000
ドルチェ学童クラブ	600,000
第二ドルチェ学童クラブ	400,000
翔南学童クラブ	600,000
学童クラブわんぱく家	600,000
竹の子学童クラブ	356,000
津嘉山学童クラブ	360,000
合計	5,494,000

●こがね森学童クラブの子ども達

●保育料減免	対象児童数（人）	補助金額（円）
みやび学童クラブ	2	110,000
よなは学童クラブ	2	85,000
よなは第2学童クラブ	3	180,000
北丘学童クラブ	4	220,000
第2北丘学童クラブ	1	45,000
学童クラブVI-VA	7	355,000
学童クラブVI-VAぷらす	1	60,000
こもれび学童	1	60,000
こがね森学童クラブ	1	60,000
キッズクラブカナカナ	3	180,000
キッズクラブリンク	5	285,000
ドルチェ学童クラブ	1	60,000
第二ドルチェ学童クラブ	1	36,000
いこい学童クラブ	13	673,000
いこい第2学童クラブ	1	60,000
翔南学童クラブ	7	272,000
みつわ学童クラブ	11	650,000
学童クラブわんぱく家	5	185,000
学童クラブうーまく家	9	445,000
竹の子学童クラブ	2	120,000
第二竹の子学童クラブ	5	220,000
津嘉山学童クラブ	7	380,000
津嘉山うむさ学童クラブ	3	180,000

保育料減免　合計

対象児童数	補助金額
95	4,921,000

事業の成果

学童保育料減免補助については、ひとり親家庭及び生活保護世帯を対象として実施しました。その結果、対象となる学童クラブ利用者の保育料が引き下げられ利用者の負担軽減につながり、これまで経済的な理由で学童クラブの利用が困難だった世帯も、利用しやすくなりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,237	10,415		8,332			2,083

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ファミリーサポートセンター事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育てのお手伝いを必要としている人（おねがい会員）と子育てのお手伝いをしたい人（サポート会員）とを結びつける会員制の相互援助活動を行います。

事

○ファミリーサポートセンター事業　　4，338千円

【センターの業務】
①会員の募集、登録に関すること
②相互援助活動の調整
③会員を対象に相互援助活動に必要な知識を習得するための講習会の開催
④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催
⑤子育て支援に関する関係機関との連絡調整に関する業務
⑥広報活動

【アドバイザー・登録会員状況】

単位：人

アドバイザーの人数	援助を行いたい会員（提供会員）	提供を受けたい会員（依頼会員）	両方会員	合計
2	106	381	69	556

【活動実績】

件数

保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	子どもの習い事等の場合の援助	保育所・学校等休み時の援助	合計
13	255	43	1	144	16	
保育所等施設入所前の援助	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	保護者等の求職活動中の援助	保護者等の外出の場合の援助	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	その他	
2	12	0	10	8	172	676

○新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金　　500千円
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）の購入費用の補助を行いました。

事業の成果
急な用事等により一時的に子どもを預かって欲しいけれど頼れる人がいない世帯の子育て支援のために、育児について助け合う相互援助活動を通して、子育て世帯の負担を緩和することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,385	4,838	1,946	1,446			1,446

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域子育て支援拠点事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育て家庭が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供・助言、子育てサークルなどへの支援や地域の保育需要に応じた支援を行います。

事業の実施内容

主な経費

○宮平保育所（職員人件費、会計年度任用職員、消耗品費、備品購入費等）　2，216千円

宮平保育所（職員人件費、臨時職員賃金、消耗品費等）
6，706千円

○認可保育園子育て支援拠点事業補助金　7，865千円
新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助　88千円

・ 絵本の読み聞かせや栄養指導、手作りおもちゃ作り、クッキング等、子育て親子のニーズや要望を取り入れて毎月1回行います。

・ 広報活動として「たんぽぽ広場だより」を発刊しました。

・ 子育て及び子育て支援に関する講習等を実施しました。

・ 公民館子育てサロン、児童館幼児クラブとの親子交流、認可外保育園とのリトミック交流・支援活動の実施・地域の公園での親子交流の実施。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての交流保育が中止になったり、いくつかのイベントが中止になったりと、感染拡大防止を図りながらの活動となりました。利用者の中には新型コロナウイルスの影響による生活の変化にストレスを抱える方もいますが、支援センターはコロナ禍の疲労と孤立感を解消するのにも、重要な役割を果たしました。

子育て支援センター親子利用者状況　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮平保育所	32	33	254	310				4	77	81		202	993
津嘉山保育園		40	275	315	12	169	285	192	174	184	198	272	2,116
合　計	32	73	529	625	12	169	285	196	251	265	198	474	3,109

事業の成果

実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、子育て家庭等に対する育児不安などの相談及び指導、子育てサークル等への支援並びに地域の保育需要に応じ、地域の各保育所間の連携を図りながら子育て家庭への支援を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,169	10,169	3,617	3,231			3,321

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童手当事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童（中学修了前までの児童）を養育している方に支給されます。	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としています。

事業の実施内容

1．児童手当の種類などについて

児童手当の支給対象は、15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している方で、手当を受給するには、一定の所得制限があります。支給額は月額で3歳未満の児童は一律15，000円、3歳以上小学校修了前の児童は10，000円（※第3子以降は15，000円）、中学生は一律10，000円となっています。また、所得制限限度額以上の場合は特例給付として月額一律5，000円を支給しています。なお、「被用者」とはサラリーマンなど厚生年金に加入している方のことで、「非被用者」とは自営業者など国民年金に加入している方のことです。

※「第3子以降」とは、高校卒業まで（18歳到達後最初の3月31日まで）の養育している児童のうち、3番目以降をいいます。

2．児童手当の支給状況　　決算額　949，735 千円

区分			手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)
児童手当	被用者	0歳～3歳未満	15,000	13,353	745,835,000
		3歳～小学校修了前	10,000	30,875	
			15,000	8,814	
		小学校修了後	10,000	10,458	
			計	63,500	
	非被用者	0歳～3歳未満	15,000	2,917	192,395,000
		3歳～小学校修了前	10,000	7,943	
			15,000	2,548	
		小学校修了後	10,000	3,099	
			計	16,507	
特例給付		被用者	5,000	2,035	11,505,000
		非被用者	5,000	266	
			計	2,301	
				合　計	949,735,000

◆需用費　128千円
◆役務費　1，345千円
◆委託料　178千円

事業の成果

子育てや生活支援のために手当を給付することにより、家庭の経済的な安定につながりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	963,701	951,386	664,216	142,706			144,464

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認定こども園事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認定こども園（施設、在園児、保護者）	小学校就学前の児童を受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行っていきます。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和3年3月1日現在）

※町内在住者のみ　　単位：人

施設名		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
開邦幼稚園	1号認定	0	13	12	11	36
	2号認定	0	20	15	9	44
町内施設　計		0	33	27	20	80
1号認定	光の子幼稚園	0	1	0	0	1
	相愛幼稚園	0	1	1	1	3
	ナザレ幼稚園	1	2	2	0	5
	善隣幼稚園	0	1	1	0	2
	津山幼稚園	0	1	0	0	1
	しゅりの泉こども園	0	0	0	1	1
	米須こども園	0	0	1	0	1
	あおぞらこども園	0	2	1	0	3
	ゆたか認定こども園	0	1	0	0	1
	ドレミ認定こども園	0	0	0	0	0
	識名さつき認定こども園	0	1	0	0	1
	第2愛心こども園	0	3	0	0	3
	愛心こども園	0	1	0	0	1
	みやび認定こども園	0	1	0	0	1
	ポプラこども園	0	1	0	0	1
2号認定	童夢認定こども園	0	0	0	2	2
	ゆたかこども園	0	0	0	0	0
	ゆりかご認定こども園	0	0	1	0	1
	浜川こども園	0	0	1	0	1
広域入所　計		1	16	8	4	29
合計		1	49	35	24	109

○認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。令和元年度より町認可施設として1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和2年度実績）

単位：千円

施設名	運営費
開邦幼稚園（1号）	22,392
開邦幼稚園（2号）	41,969
町内認定こども園運営費（小計）	64,361
広域入所（1号）	39,929
広域入所（2号）	1,563
町外認定こども園運営費（小計）	41,492
合計	105,853

事業の成果

認定こども園においては幼児教育・保育を一体的に取り組むことができ、また、保育の必要理由の有無に関わらず子どもを受け入れることにより、集団活動や異年齢交流も確保できた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	105,853	105,853	43,543	29,935	0	0	32,375

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	正規雇用化促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

正規雇用化促進事業

【主な経費】

保育士正規雇用化促進事業補助金　　6，188千円

【事業の内容】

特定教育・保育施設において、非正規雇用から正規雇用に保育士を転換した場合（42千円×正規雇用月）又は新規採用する保育士を正規雇用した場合（25千円×正規雇用月）に特定教育・保育施設に対して、補助を行いました。

実施園：さんご保育園（転換1名）、なのはな保育園（転換7名）、ももの木保育園（転換1名）、やまがわ保育園（転換1名）、よなは第2保育園（新規5名）、明星保育園（新規2名）

夏祭り会
「 金魚すくい 、たのしいな ♪ 」

「自分達で育てたピーマン、
とっても、おいしかったよ」

事業の成果

保育士正規雇用促進事業は、保育士の正規雇用化を図る事業者を支援することにより、保育士の新規確保及び離職防止を図り、待機児童解消に必要な保育士を確保することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,300	6,188		5,567			621

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼児教育・保育無償化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889-7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	3歳児から5歳児までの子ども達の幼稚園・保育園・認定子ども園等の利用を無償化するとともに、0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の子ども達を対象として保育園等の費用を無償化する。	幼児教育・保育無償化事業を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するように支援し、良質かつ適切なものであることに加え、子どもの保護者の経済的負担の軽減をはかる。

事業の実施内容

■ 幼児教育・保育無償化事業

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、子育てや教育にかかる利用負担の軽減を図る少子化対策の観点などから、3歳児クラスから5歳児クラスの子ども及び市町村民税非課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの子どもを対象に幼児教育・保育の無償化を実施します。

＜対象者＞

○　3歳児クラスから5歳児クラスのすべての子ども

○　満3歳で幼稚園や認定こども園（教育認定）へ入園した子ども

○　0歳児クラスから2歳児クラスの市町村民税非課税世帯の子ども

＜対象範囲＞

○　公立・認可保育所（園）・地域型保育施設・認定子ども園（2号認定）の保育料　：　全額無償化

○　幼稚園（教育時間）の保育料　：　月額25,700円までの範囲で無償化

○　認可外保育施設等の保育料
- 0歳児から2歳児クラス→月額42,000円までの範囲で無償化
- 3歳児から5歳児クラス→月額37,000円までの範囲で無償化

○　預かり保育利用料　：　月額11,300円までの範囲で無償化
（日額450円×利用日数の範囲で無償化）

■ 主な経費

○　会計年度任用職員報酬（期末手当・通勤手当含む）	6,745 千円
○　通信運搬費等	293 千円
○　子育てのための施設等利用給付費	49,570 千円
※　国1/2　県1/4　町1/4　負担しています。	
○　子ども子育て支援システム改修委託料	11,682 千円

事業の成果

幼児教育や保育の無償化を行うことにより、子どもが健やかに成長するように支援し、子どもの保護者の経済的負担を軽減することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	104,111	68,290	40,753	11,017			16,520

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	子育て世帯への臨時特別給付金事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	児童手当受給者（本則給付受給者）	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当（本則給付）を受給する世帯（0歳～中学生のいる世帯）に対し、臨時特別の給付金（一時金）を支給します。

事業の実施内容

令和2年4月分(3月分含む)の児童手当受給者に対して、給付金を支給しました。

【支給対象者】
・令和2年4月分（3月分含む）の児童手当（本則給付）の支給を受けている方。 対象児童は令和2年3月31日までに産まれた児童であり月末まで中学生だった児童（新高校1年生）も含みます。
・特例給付の受給者（所得制限を超過し、児童1人につき5,000円を受給している方）は対象外です。

※児童手当とは
・児童手当の支給対象は、15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している方です。手当を受給するには一定の所得制限があり、支給額は年齢や児童数に応じて4区分あります。

【給付費】
・対象児童　1人当たり　10，000　円

支給世帯数	対象児童数	実績額
4，308　世帯	8，268人	82，680千円

【事務費】
・会計年度任用職員報酬等（費用弁償、共済費含む）、職員超過勤務分、
需用費、役務費、システム改修委託料　　3，834千円

事業の成果

新型コロナウイルス感染症が流行する中、小学校の臨時休業等により影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みのひとつとして児童手当受給世帯に給付金を支給することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	86,632	86,514	86,514				0

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ひとり親世帯等子育て支援給付金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	児童扶養手当受給者	新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親世帯等については特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、こうした世帯を支援するため給付金を支給します。

事業の実施内容

令和2年4月分または令和2年6月分の児童扶養手当受給者に対して、給付金を支給しました。

※児童扶養手当とは

離婚等により父または母と生計を共にできない児童を養育する方や、父または母が一定程度の障がいの状態にある児童を養育する方に対する手当です。

支給額
児童扶養手当　対象児童　1人当たり　30，000　円

支給世帯数	対象児童数	実績額
546世帯	933人	27，990，000円

事業の成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親世帯等については子育てに対する負担の増加や収入の減少等により特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、こうした世帯を支援するため給付金を支給することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,800	27,990	27,990				0

令 和 2 年 度 主 要 施 策 の 成 果 に 関 す る 報 告 書

単位:千円

事業名	包括的支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-3534				項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内在住の高齢者と家族	地域包括支援センターに、社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等の専門職を配置し、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために包括的な支援をします。

事業の実施内容

地域包括支援センターは介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者及び家族からの相談や、高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援などを行う高齢者の総合的な相談支援の拠点です。

1) 介護予防支援業務
① 令和2年度予防給付対象者(要支援1・2) →249人
② ①の方への予防給付ケアマネジメント実施者 →65人

2) 総合相談支援業務
相談・支援件数 2,077件

	内容	相談・支援件数(電話・来所・訪問)
1	介護、他生活に関すること	1,762
2	介護保険に関すること	89
3	福祉制度・サービスに関すること	226
計		2,077

3) 包括的・継続的ケマネジメント支援業
① 地域ケア会議→福祉課題検討ケア会議では、「家族介護者の介護負担や支援について」「地域主体の地域ケアについて」を議題に、社協と高齢者福祉班、地域包括支援センター職員で話し合いを行いました。また、ケアマネジメント支援ケア会議を行い、ケアプランに対して理学療法士等多職種で自立支援に繋がる助言を行いました。(検討したプラン件数:27件)

② 地域のケアマネージャーに対する支援
・南風原町介護支援専門員連絡協議会の開催(定例会1回、役員会1回)
・支援困難な方への助言、関係機関調整

4) 権利擁護業務

内容	相談・支援件数	相談対応件数	新規相談件数
高齢者虐待に関すること	50	12	10

成年後見制度に関すること 町長申立:1件 報酬助成:8件

主な経費
人件費(社会福祉士等) 16,603千円
委託料 12,066千円
使用料 2,028千円
その他 818千円

事業の成果

高齢者の様々な相談に関して、各関係機関と連絡調整し包括的に支援を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	34,199	31,515				31,515	0

令和2年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	生活支援体制整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者及び地域住民、民間企業、社会福祉法人等	生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、地域住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等、多様な主体が関わり、地域における支え合いの体制作りを推進します。生活支援の担い手の養成や地域資源の開発、ネットワーク化などを行います。

事業の実施内容

1）生活支援コーディネーター業務　（町社会福祉協議会へ委託、2名配置）

主な経費：生活支援コーディネーター委託料　　7，009千円

○活動実績

活動内容		件数
資源開発	資源開発の情報収集	46
	地域への働きかけ	32
	関係機関への働きかけ	10
	生活支援の担い手・サービス開発	7
	計	95
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	27
	サービス提供主体間の連携体制づくり	3
	計	30
ニーズと取組みのマッチング	個別ニーズとサービスのマッチング	4
	社会資源の情報提供	17
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	11
	計	32
その他	協議体に関すること	1
	ニーズ把握	81
	その他	26
	計	108
合計		265

○外出自粛中の高齢者の生活実態調査の実施（アンケート）
実施時期：令和2年6月～7月
対象者：ミニデイ利用者　76人、高齢者に関わる方々（区長、民生委員、ボランティア、老人クラブ、介護者の会）　78人　合計154人

○高齢者の外出ツアー
実施時期：令和2年7月下旬
対象者：中央型ミニデイ利用者、第2団地サロン利用者
内容：南風原町にある南観光の協力を得て、コロナ対策を行った上で、無料で観光バスを出してもらい、ファーマーズマーケット糸満や平和記念公園のバスツアーを行いました。

○学生傾聴ボランティア
実施時期：令和2年12月～令和3年3月
対象者：町内の独居高齢者　2名
内容：長期化するコロナ禍の中でミニデイ等が休止になり、外出機会が減少した高齢者の見守りが課題となっていました。そこで、県内大学に呼びかけて、話し相手になってくれる学生の傾聴ボランティアを募集、高齢者宅を訪問してもらいました。

2）生活支援体制整備事業　協議体

コロナのため、民間企業や地域住民等を交えた会議（協議体）の開催ができなかった。

事業の成果

コロナによって、例年通りの事業活動ができなかったが、その中でも高齢者の実態把握調査を行い外出自粛中のニーズ把握に努め、そのニーズと企業の力をマッチングしてバスツアーを実施することができた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,160	7,009				7,009	0

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	家族介護支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	高齢者等を自宅で介護している家族	家族が介護技術や保健福祉制度、介護者自身の健康づくりについて学び、精神的・身体的負担の軽減を図ります。また、家族同士の交流や情報交換及びレクリエーション等を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ります。

事業の実施内容

1）家族介護者等支援事業　　決算額　：　123千円

	参加者
① ピクニック「体験王国むら咲むら・恩納村」	13人
② 介護教室 1「介護が楽になる！かしこく活用しよう福祉用具」 ～どんどん進化している福祉用具を活用し介護の負担を減らしていこう～	24人
③ 介護教室 2「安心して暮らせるよう認知症について知ろう」 ～地域で認知症の方を支えるために～	32人
④ 介護教室 3「ミドル・シニア世代が知っておきたい運動の知識と実践」 ～誰でも実践できる介護予防運動を学ぼう～	21人
⑤ 健康づくり教室	15人

2）老人福祉医療助成金支給事業　　決算額　：　6，573千円　　支給人数　：　260人

在宅や入院中の要介護高齢者に対し、健康保険等の保険外負担となっているオムツ代の助成をしました。

3）介護用品支給事業　　決算額　：　483千円　　支給人数　：　7人

在宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することで、家族の負担を軽減し、要介護者の在宅生活の継続と向上を図りました。

4）南風原町介護者の会（にじの会）補助金　　決算額　：　90千円

介護者間の連携を密にし、協力と助け合いでよりよい介護に繋げ、在宅で安心して介護ができることを目的に結成された「にじの会」へ補助金を交付することにより、家族介護者の介護負担や介護疲れを軽減し、要介護者の在宅生活の継続と福祉の向上に向けて支援しました。

事業の成果

日頃の介護負担や介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュを図りました。また介護用品やオムツ代等の経費を一部負担することで経済的負担を軽減し、在宅介護の福祉向上が図れました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,705	7,269				7,269	0

令 和 2 年 度 主 要 施 策 の 成 果 に 関 す る 報 告 書

単位：千円

事業名	在宅医療・介護連携推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するため、医療と介護の連携を推進します。

事業の実施内容

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、在宅医療に関わる機関と介護サービス事業者など、関係者間の連携推進を目的とした事業です。
本町は南部地区市町と合同で、南部地区医師会へ事業委託を行っています。

(ア) 地域医療・介護の資源把握
・医療・介護の資源マップを冊子とWebサイトに掲載、情報の更新を行いました。

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・事業担当者連絡会議を6回、南部地区在宅医療支援ネットワーク協議会を3回開催しました。

(ウ) 在宅医療と在宅介護の提携体制の構築推進
・訪問診療医のメーリングリスト登録、在宅医療に関する普及啓発のパンフレット作成。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
・「救急連絡シート」作成、各消防署管轄にて利用促進・活用状況の評価を実施しました。
入退院連携に関する医療・介護実態調査を実施しました。

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・在宅医療介護連携に関する相談窓口を南部地区医師会に設置、広報リーフレットを作成しました。

(カ) 医療・介護関係者の研修
・栄養・リハビリ・看とり・意思決定支援等の研修会を開催しました。
・入退院支援、急変時対応に関する多職種研修会を開催しました。

(キ) 地域住民への普及啓発
・南風原町ではアドバンス・ケア・プランニングに関する講座を計画していましたがコロナウイルスの影響で開催ができませんでした。

(ク) 在宅医療・介護連携に関する市町村の連携
・南部地区在宅医療・介護連携推進事業担当者連絡会議を6回開催しました。

主な経費
委託料　1，518千円

事業の成果

上記8事業を南部地区医師会と協働で実施し、医療・介護の連携、入退院連携の推進を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,906	1,518				1,518	0

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯	介護保険で要介護に該当しない日常生活に支障のある高齢者世帯にホームヘルパーを派遣し、生活援助や定期的に電話をかけることで心のふれあいや健康状態を確認し、高齢者の自立と社会参加を図ります。

事業の実施内容

1）軽度生活援助事業　　委託料　：　704千円

介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営むことに支障がある高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、生活援助を行い、健康の保持及び生活の安定に向けて支援を行いました。

実人数　：　9人　　延べ人数　：　70人　　派遣時間　：　469時間

【　軽度生活援助サービス事業実績　】

	利用人数	派遣回数	派遣時間
4月	5	31	39.0
5月	5	29	37.0
6月	5	31	38.0
7月	5	37	46.0
8月	5	25	33.0
9月	7	38	44.0
10月	7	39	47.0
11月	6	26	33.0
12月	6	27	35.0
1月	6	32	40.0
2月	6	29	36.0
3月	7	34	41.0
合計	70	378	469.0

2）ふれあいコールサービス事業　　委託料　：　340千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に電話をかけることで、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを図りました。

【　ふれあいコールサービス事業利用者実績（月別）　】

	人数	回数
4月	13	124
5月	13	105
6月	13	131
7月	15	140
8月	15	127
9月	14	112
10月	14	138
11月	14	120
12月	16	145
1月	14	122
2月	13	131
3月	14	150
合計	168	1,545

利用者実人数　：　16人
利用者延べ人数　：　168人

次ページへつづく →

事業の実施内容

3)高齢者日常生活用具給付等事業　384千円

高齢者の自立支援や介護予防を促進する事を目的に、日常生活用具の給付を行いました。

用具等	利用者数	金　額
歩行支援用具	6人	324千円
入浴補助用具	4人	61千円
腰掛便座	0人	0千円
合　計	10人	385千円

4)外出支援サービス事業　2，896千円

公共交通機関を利用することが困難な高齢者について、リフト付き車輌により医療機関への送迎を行っています。また歩行に不安があるため、高齢者サロンや一般高齢者介護予防通所事業等への参加が困難な高齢者に対しても、送迎を行いました。

【　外出支援サービス事業利用者等実績(月別)　】

	高齢者支援		サロン活動等	
	人数	回数	人数	日数
4月	10	17	0	0
5月	3	4	0	0
6月	5	8	16	3
7月	11	21	37	8
8月	11	19	0	0
9月	13	22	0	0
10月	14	15	15	5
11月	13	24	50	10
12月	13	23	53	11
1月	27	51	20	6
2月	15	28	0	0
3月	20	27	45	10
合計	155	259	236	53

※実績表(月別)の高齢者支援の項目は高齢者の居宅と医療機関等との間の送迎。サロン活動等は高齢者の居宅と介護予防事業等を提供する場所との間の送迎。

5)福祉電話設置費　0円　　件数:0件

事業の成果

高齢者が安心した生活が送れるように、在宅生活を支えるサービスを提供し、自立した生活の支援および社会参加を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,883	4,324					4,324

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

				予算科目			
事業名	重度心身障害者医療費助成事業				会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
心身に重度の障害のある障がい者（児）に対し、医療費の一部を助成します。（入院時の食事療養費については2分の1助成）	医療費の一部を助成することによって保健の向上に寄与し、もって重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

1 印刷製本費　22千円
2 委託料　363千円
3 扶助費　56，696千円

重度心身障がい者（児）医療費助成受給資格者に対し、保険適用診療分の医療費（R2.3月受診分まで入院時の食事療養費については2分の1）の自己負担額を助成しました。（所得制限があります）

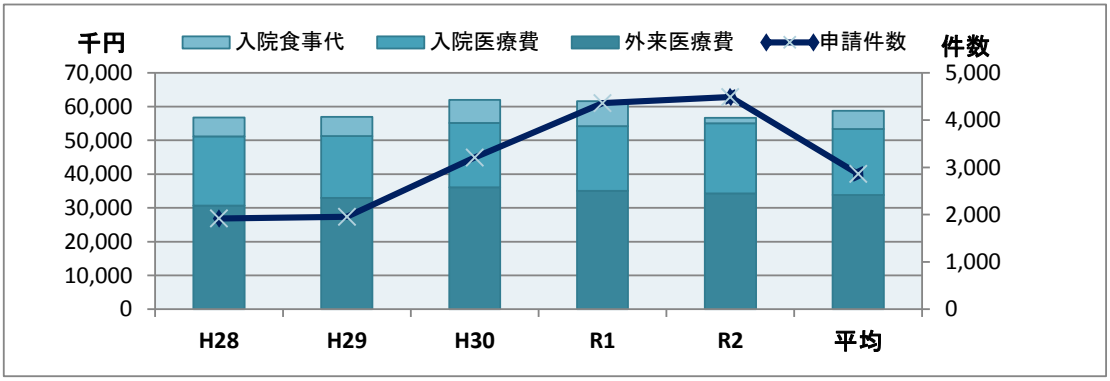
＜受給対象者（障害程度）＞

- 身体障害者手帳1級または2級
- 療育手帳A1またはA2
- 身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1
- 療育手帳B1かつ障害基礎年金1級受給
- 療育手帳B1かつ特別児童扶養手当1級受給

◆ 医療費助成の内訳

対象者数・・・705名　　申請件数（延べ）・・・ 4，489件（月平均374件）
助成額（総額）・・・ 56，696，293円　うち外来医療費・・・ 34，268，997円
うち入院医療費・・・ 20，749，016円
うち入院時食事代・・・ 1，678，280円
※入院時食事代はR2.3月受診分まで

◆ 医療費助成額の推移



（単位：円）

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
申請件数	1,918	1,957	3,211	4,373	4,489	3,190
外来医療費	30,649,184	32,972,900	36,069,642	35,073,081	34,268,997	33,806,761
入院医療費	20,563,759	18,304,773	19,099,925	19,110,659	20,749,016	19,565,626
入院食事代	5,522,976	5,668,482	6,851,973	7,445,891	1,678,280	5,433,520
合計	56,735,919	56,946,155	62,021,540	61,629,631	56,696,293	58,805,908

事業の成果

重度心身障がい者（児）の医療費負担軽減を図り、健康増進及び福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,505	57,081		27,416		37	29,628

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	自立支援医療費（更生・育成医療）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	098－889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	【更生医療】18歳以上の身体障害者手帳を有する者 【育成医療】18歳未満の特定の障害を有する児童または、現存する疾患を放置すると将来においてこれらの障害を残すと認められる児童	身体の障害またはその原因となる疾患を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる医療に対して、自己負担額を軽減することにより適切な医療受診及び自立支援を図ります。

事業の実施内容

◎更生医療とは

更生医療は疾病、事故、災害等による身体的損傷が、一般医療によってすでに治癒（欠損治癒や変形治癒等の不完全治癒）した身体障がい者に対し、日常生活能力、社会生活能力または職業能力を回復または向上、もしくは獲得（更生）させることを目的として行うものです。

・更生医療給付費　41,983 千円　　・更生医療審査事務委託料 64千円

更生医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	公費負担	自己負担
心　臓	25	44,177,862	41,049,604	2,892,594	235,664
じん臓	283	367,861,066	327,109,037	37,259,126	3,492,903
肢体不自由	2	0	0	0	0
その他	16	12,417,620	10,366,567	1,831,319	219,734
合　計	326	424,456,548	378,525,208	41,983,039	3,948,301

・償還金　9,709千円

◎育成医療とは

育成医療とは身体上の障害を有する児童又は現存する疾患を放置した場合、将来において障害を残すと認められる児童に対し、健全な育成を図ることや生活の能力を得るために必要な医療のことです。

・育成医療給付費　1,156　千円　　・育成医療審査・判定事務委託料　60千円

育成医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心臓	2	3,618,690	3,454,502	10,000	154,188
じん臓	0	0	0	0	0
肢体不自由	6	2,019,990	1,831,315	15,652	173,023
音声・言語等	14	1,029,260	773,382	71,098	184,780
聴覚・平衡機能	0	0	0	0	0
その他	31	7,505,630	6,759,104	103,049	643,477
合　計	53	14,173,570	12,818,303	199,799	1,155,468

※自立支援医療（更生・育成）の対象施術

・心臓手術（冠動脈バイパス術、ペースメーカー埋込術、ステント留置術など）
・人工透析・腎臓移植手術など　　・唇顎口蓋裂にかかる手術や歯科矯正

◎療養介護とは

医療を必要とするとともに、常時介護を必要とすると認められた障がい者（児）に対して、病院や施設等で機能訓練、療養上の管理、看護を行う医療費のことです。

・療養介護医療費　7,200　千円　　・療養介護医療審査事務委託料　4千円

事業の成果

更生医療・育成医療、それぞれにおいての必要な医療を、各医療機関及び県判定機関との連携を図りながら実施することで自立支援を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	69,226	60,176	29,666	14,999			15,511

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	市町村地域生活支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	098－889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域で生活する障がい者及び障がい児を対象としています。	障がい者（児）が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、南風原町の特性や障がい者（児）のニーズに応じた事業を実施していきます。

事業の実施内容

1．相談支援事業

・障がい者相談支援　10,792千円

地域の障がい者（児）の福祉に関するいろいろな問題について、障がい者本人や家族（養護者等）からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う為の支援相談員を配置しました。町社協へ委託して事業を実施しました。（R2延べ相談件数：4,058件）

・基幹相談支援センター　5,720千円

相談支援体制の強化・困難事例や相談支援専門員への助言・相談支援員の人材育成・地域移行及び定着支援事業の促進・関係機関ネットワークの構築・権利擁護及び虐待防止体制の支援・自立支援協議会運営体制の強化を担います。
それらを踏まえ、現在、町社協に委託している障害者相談支援員（CSW）、包括支援センター、児童福祉等相談員（こども課）及び各機関と連携し、核となる総合的な相談支援に取り組みました。

2．意思疎通支援事業

・設置手話通訳者報酬等	2,485 千円	・奉仕員傷害保険料	4 千円
・手話・要約筆記奉仕員派遣謝礼金	395 千円	・頸肩腕症検診料	21 千円
・手話奉仕員派遣事業委託料	317 千円	・手数料	6 千円

意思疎通を図ることに支障のある聴覚障がい者の支援を目的に、手話通訳者を設置し庁舎内での手話通訳や、要望に応じて通院、学校行事（三者面談、家庭訪問など）への派遣、団体主催の講演会や職場会議などでの手話通訳及び要約筆記（斡旋含む）のコーディネートを行っており、令和2年度は242件の通訳依頼がありました。
また、時間外や緊急時への手話通訳派遣対応として沖縄県身体障害者福祉協会に委託しました。

3．発達障がい児支援事業

・保育士報酬等	2,468千円	・需要費	38千円
・発達支援強化謝礼金	437千円	・通信運搬費	44千円
		・発達支援通園事業負担金	3千円

親子通園事業施設の「ゆうな園」では、発達が気になる子や障がいがある子が親子で通園し、個別、小集団での保育・療育を体験することで、徐々に集団活動ができるよう支援しました。

4．自立支援協議会

・協議会委員謝礼金　52千円

相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関する体制づくりに関し、中核的な役割を果たす「南風原町障がい者自立支援協議会」を設置しています。

5．点字・声の広報等発行事業　435千円

ボランティアの方が、毎月町広報と社協だよりをCD等に録音し、視覚障がい者を対象に配布する事業で、町社協に委託しています。令和2年度の利用者は16人でした。

次ページへつづく →

6. 福祉機器リサイクル事業　160千円

福祉機器の有効利用を図るため、不用になった福祉機器を回収し必要とされる方へ斡旋する事業です。町では社会福祉協議会へ業務を委託しています。令和2年度は、車イス、介護用ベッド、ポータブルトイレ、シャワーチェア、歩行器等において121件の利用がありました。

7. 地域活動支援センター事業　4,500千円

障がい者の居場所づくりや地域活動の支援のために、創作活動や生産活動を行う基礎的事業を「てるしのワークセンター」に委託しています。

8. 社会参加促進事業　200千円

障がい者・障がい児が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活を営む事ができるようにスポーツ教室を開催しさまざまな運動を行っています。

9. 日常生活用具給付事業　6,471千円

障がい者(児)の日常生活の便宜をはかるため、日常生活用具の給付をおこなっています。令和2年度は533件の用具給付実績がありました。

主な用具	上下肢・体幹障害	歩行補助杖、入浴補助用具、特殊寝台など
	視覚障害	点字ディスプレイ、盲人用時計、音声体温計、電磁調理器など
	聴覚障害	聴覚障害者用屋内信号装置など
	内部障害	ストマ用装具、電気式たん吸引器、ネブライザーなど
	知的障害	頭部保護帽など

10. 移動支援事業　2,668千円

屋外での移動が困難な障がい者(児)への余暇活動などの社会参加促進のため、外出時の移動の支援を行います。

11. 日中一時支援事業　1,376千円

障がい者(児)が充実した生活をおくれるよう、また日常的に障がい者(児)を介護している家族の一時的な休息(レスパイト)を図るため、障がい者(児)の日中における活動の場を提供する事業です。

12. 地域活動支援事業支払委託料　16千円

13. 障害程度区分認定調査等事業

障がい者の介護の必要度を認定する為の調査及び認定審査会での審査を行いました。

・区分認定調査員報酬(介護福祉士)　2,522千円
・主治医意見書作成手数料　529千円

14. 自動車運転免許取得・改造助成事業費　200千円

15. 成年後見制度利用支援事業費　392千円

16. 償還金　279千円

事業の成果

地域生活支援事業で行う各種事業を通じて、障がい者(児)が自立した日常生活・社会生活が営むことができるよう事業推進に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	46,508	42,530	7,221	3,459			31,850

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護給付・訓練等給付事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
○身体に障がいのある方 ○知的障がいのある方 ○精神障がい（発達障害を含む）のある方 ○難病等の方（対象疾患に該当する方） ※すべて児童を含む	障がい児（者）が特性に応じた日常生活等を営むことができるように、個々に即したサービスの支給を行い、福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず、国民が尊重し合い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

事業の実施内容

1. 自立支援給付費　**813,627 千円**

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
居宅介護	37,387,183	884
重度訪問介護	3,108,050	47
行動援護	429,470	12
同行援護	22,112,575	275
療養介護	25,651,430	96
生活介護	267,256,430	1,303
短期入所	8,828,884	124
施設入所支援	95,890,254	698
共同生活援助（GH）	58,696,110	472
合計	519,360,386	3,911

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
宿泊型自立訓練	2,074,440	17
自立訓練（機能訓練）	546,926	4
自立訓練（生活訓練）	3,766,070	35
就労移行支援	19,579,410	133
就労継続支援（A型）	36,284,605	274
就労継続支援（B型）	216,154,474	1,880
就労定着支援	2,091,130	72
地域移行支援	291,720	8
計画相談支援給付費	13,414,600	1,055
高額障害福祉サービス費	63,012	31
合計	294,266,387	3,509

2. 障害児通所給付費　**406,619 千円**

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
児童発達支援	90,117,591	773
放課後等デイサービス	287,213,647	2,508
障害児相談支援給付費	11,819,130	761
高額障害児通所給付費	61,647	16
医療型児童発達支援	1,784,858	26
保育所等訪問支援	13,515,602	373

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
肢体不自由児通所医療費	178,582	23
やむを得ない事由による措置費	1,928,410	40
合計	406,619,467	4,520

3. その他費用　内訳　**2,675 千円**

自立支援給付費事務委託料	1,175,675	5,940
障害児通所給付費事務委託料	785,756	3,975
総合支援ソフト賃貸借料	712,800	－
合計	2,674,231	9,915

4. 補装具給付費（購入・修理）　**11,890 千円**

内訳

補装具の種類	購入		修理	
	決算額（円）	延べ件数	決算額（円）	延べ件数
義肢	0	0	100,026	1
装具	2,036,901	17	18,825	2
座位保持装置	2,356,939	7	190,079	3
盲人安全杖	11,740	2	0	0
眼鏡	127,691	6	0	0
補聴器	944,490	16	225,594	9
車椅子	2,780,910	7	668,803	14
電動車椅子	1,333,337	2	257,763	4
座位保持椅子	282,013	3	0	0
起立保持具	300,000	1	0	0
歩行器	123,066	1	0	0
重度障害者用意思伝達装置	0	0	132,076	1
合計	10,297,087	62	1,593,166	34

5. 償還金（前年度補助差額分）　**38,055 千円**

事業の成果

町社会福祉協議会、障がい者支援相談員、その他関係機関及び地域等と連携し、障がい者（児）の状況に応じた福祉サービスの支給や補装具給付による支援を行うことで、自立生活の促進を図ることができました。

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,279,659	1,272,866	622,679	310,906			339,281

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者慶祝記念品支給事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	トーカチ、カジマヤー、新100歳、の高齢者に記念品を支給します。	老人の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝います。

事業の実施内容

高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、慶祝記念品や祝い金を支給しました。

○ 慶祝記念品　　1，985千円

トーカチ（88歳）　・・・・・　116人

カジマヤー（97歳）・・・・・　20人

新・100歳　　・・・・・　9人

○ 高齢者祝い金　　120千円（トーカチ12人）※令和元年度繰越対象者

事業の成果

長年にわたり社会に貢献してきた功績に感謝し、慶祝記念品を支給し、長寿を祝しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により慶祝訪問については中止しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,105	2,105					2,105

令 和 ２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者の見守り・介護予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

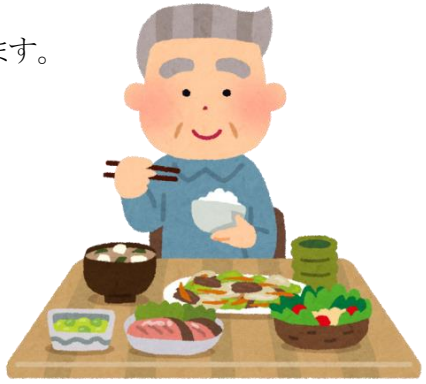
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	コロナウイルスの影響で高齢者の通いの場が休止となり、外出や人と会う機会が減った高齢者のフレイルや認知症等の進行の防止を図ります。

事業の実施内容

コロナウイルス感染症拡大防止の為に高齢者の通いの場の休止等で外出や人と会う機会が減少しました。
その影響で、フレイルや認知症等が進行するおそれがあるため、会計年度任用職員の看護師を、1名配置し、予防と相談支援を図りました。

・高齢者の見守り・介護予防事業の看護師の主な仕事

(1) 高齢者宅に戸別訪問や電話にて相談業務等を行います。
(2) 健康状態や困ったことがないか確認します。
(3) 自宅でもできる運動等のチラシを配布します。



・活動実績
対応件数（延べ）：725件

主な経費　看護師嘱託員報酬等：１，069千円

その他経費：　２，002千円

事業の成果

看護師が訪問をすることによって高齢者の見守り、自宅でできる運動や食事等について情報提供することが出来ました。必要な方には介護保険サービス等に繋げる支援も実施しました。このような活動から高齢者のフレイル・認知症予防に資することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,145	3,071	3,071				0

令 和 ２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者の活動自粛によるフレイル予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	ちむぐくる館健康増進室に運動器具を設置し、外出自粛等をしていた高齢者のフレイル・介護予防を図ります。

事業の実施内容

コロナウイルス感染症拡大防止の為に高齢者の通いの場の休止等で外出や人と会う機会が減少しました。
その影響で、フレイル進行するおそれがあるため、ちむぐくる館健康増進室に運動器具を設置し、外出自粛等をしていた高齢者の介護予防を図りました。

主な経費　備品購入費：　1，780千円

工事請負費：　151千円

備品購入費でウォーキングマシン2台を購入し、電源工事を行いました。

事業の成果

コロナ禍における活動自粛のため高齢者のフレイルが進行するおそれがあり、ちむぐくる館健康増進室に運動器具を設置し、外出自粛等をしていた高齢者の介護予防を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,932	1,931				1,931	0